



1	キャリアデザイン I	FGE-CCS-101	必修 1単位 1 年前期
	Career Design I		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
<input type="radio"/>	単独(1人が全回担当)	教職科目 (工業)	
<input type="radio"/>	複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)	教職科目 (情報)	
<input type="radio"/>	オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)	教職科目 (商業)	
<input type="radio"/>	クラス分け(クラス分けで担当する)	地域志向科目	
		<input type="radio"/> 実務経験のある教員担当	
		<input type="radio"/> アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学科 1 年全組 高橋 秀太郎			
授業の達成目標			
<p>受講者が以下の能力を身に付けること（またはできるようにすること）を、本授業の達成目標とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●キャリアデザイン力の養成 <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身のキャリアをデザインすることの意義や必要性を理解し、自身の将来の展望を広い視野で考えることができる。 ・自身のこれまでの経験について、客観的に自己評価することができる。 ・自己評価の結果と将来の展望を踏まえて、短期的な目標やアクションプランを立てることができる。 ●ベネックスキルの向上 <ul style="list-style-type: none"> ・チームで働くために必要な基本的コミュニケーションスキルを身に付けている ●共通学士力の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・本学学士力を身に付けるための具体的な取り組み方法を理解しており、大学生活で実践する姿をイメージできる。 			
授業の概要			
<p>本講義は、座学と実践の2つの形式で行われ、自己分析の方法を学ぶとともに、将来的な展望を自身で構築する（＝キャリアをデザインする）ための基本的な力を養います。</p> <p>座学では、在学中に身につけるべき「共通学士力」の内容、キャリアデザインとは何か、本学の先輩たちの就職活動や進路状況はどのようなものかなどを理解してもらいます。実践ではPROGテストの受検・総括も含めて自己分析を丁寧に行い、その結果について学生同士で話し合ったり、チームを組んで課題に取り組み、プレゼンテーションを行ったりします。</p> <p>話を聞くだけ、あるいは実践だけでは大きな成長は望めません。座学で事実や理論、ノウハウに関して理解し、そこで身に付けた知・方法をもとに実際に動いてみることでキャリアデザインのための基本的なスキルが身につくように講義を構成しています。「課題提出」は、次の講義の予習、準備であると同時に、自らをスキルアップさせるための機会としてとらえ、積極的に取り組んでください。（各回の細かな内容は下記授業計画を参照のこと）</p>			
実務経験を活かした教育について			
<p>「キャリア」という言葉の先行イメージにとらわれず、地に足のついた「振り返り」を丹念にしていくことで、本質的な意味でのキャリア形成を目指します。そのために講義デザインは、個々人の「思考力」を鍛える「思考訓練」を施し、自身について論理的かつ魅力的な「キャリア」を表現できるようにしています。</p>			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
講義ごとにレジュメ、講義資料を適宜配布する。			
参考書等			
成績評価方法・基準			
<p>①講義ごとの取り組みへの評価（PROG テストを受検する、結果のフィードバックを受ける、毎回のワークシート提出とその内容）50%</p> <p>②期末課題結果への評価（提出とその内容）50% 以上の①②を総合的に評価し、合わせて 60% 以上に達した者に単位を認定する。</p>			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
各課題については、授業時に全体に対しフィードバックを行う。			
備考			

1	キャリアデザイン I	FGE-CCS-101	必修 1単位 1 年前期
	Career Design I		
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（上段予習・下段復習）	目安時間(時)
第1回	ガイダンス・キャリア概論① キャリアとは？キャリアデザインとは？本学での学びと	自身のキャリアについて考えてみる 求められる共通学士力を確認する	0.5 0.5
第2回	自己理解と能力測定 アセスメントテスト（PROGテスト）の受検	自身のこれまでの経験を振り返る 設問に対しての自身の経験を振り返る	0.5 0.5
第3回	キャリア概論② これまでの経験の振り返りと現状の自己評価	これまでの経験について振り返りを行う グループワークを通じて得た自己評価と他者評価を振り返る	0.5 0.5
第4回	キャリア概論③ 大学入学動機の整理とアクションプランの整理	大学入学動機について振り返る アクションプランを実行に移すための調整をする	0.5 0.5
第5回	キャリア概論④ グループワークレクチャー&課題発見トレーニング	グループワークに必要なコミュニケーションについて考える 自身に足りないグループワークにおけるコミュニケーション能力を整理する	0.5 0.5
第6回	社会人基礎力プログラム① テーマ提供企業のPBL：導入・目標設定/グループ活動	ニュースを見ておく テーマ分析の手法について振り返り行い、再実施をする	0.5 0.5
第7回	社会人基礎力プログラム② テーマ提供企業のPBL：企画書作成レクチャー&グループワーク	グループ内で出た課題について整理する 課題発見トレーニングで学んだ手法をもとに、再度課題を分析する	0.5 0.5
第8回	社会人基礎力プログラム③ テーマ提供企業のPBL：グループワーク	企業課題を纏める 資料作成の手順を踏まえ、現状の企画進捗の状況を確認する	0.5 0.5
第9回	社会人基礎力プログラム④ テーマ提供企業のPBL：グループワーク	グループ内へ発信するアイデアを考える アイデアの妥当性を検証する	0.5 0.5
第10回	社会とのつながり 企業/インターンシップの理解とアクションプランへの	自身の社会・企業理解について整理する インターンシップ情報について調べてみる	0.5 0.5
第11回	将来の進路と活躍のフィールド 大学院進学への勧めと4年生の経験談を聞く	大学院への進学における考え方をまとめる 経験談を聞いて改めて自身のアクションプランについて整理する	0.5 0.5
第12回	アセスメントツールを活用して自身の特性を理解する PROGテスト結果のフィードバックと解説	第4回授業の内容を確認する 今後のアクションプランを再考する	0.5 0.5
第13回	社会人基礎力プログラム⑤ テーマ提供企業のPBL：発表&振り返り	発表の準備を行う 他グループの発表を聞いて自身のプレゼンテーションを振り返る	0.5 0.5
第14回	全体の振り返り（振り返りワークシートの作成） 卒業までの目標とアクションプランの設定	全体授業で印象に残っている授業をピックアップ 今後のアクションプランの見直しと実践	0.5 0.5

2	キャリアデザインⅡ	FGE-CCS-302	必修 1単位 2 年前期
	Career Design II		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○ 単独(1人が全回担当)		教職科目 (工業)	
○ 複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)		教職科目 (情報)	
○ オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)		教職科目 (商業)	
○ クラス分け(クラス分けで担当する)		地域志向科目	
		○ 実務経験のある教員担当	
		○ アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学科 2 年全組 力丸 萌樹			
授業の達成目標			
<p>受講者が以下の能力を身に付けること（またはできるようにすること）を、本授業の達成目標とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●キャリアデザイン力の養成 <ul style="list-style-type: none"> ・1年間の大学生活を踏まえ、より具体的なイメージをもって、自分自身のキャリアをデザインすることができる。 ・自身の現状と将来の展望について、客観的に自己評価することができる。 ・自己評価の結果を踏まえて、目標やアクションプランの修正案または具体的な改善策を考えることができる ●ベネッセスキルの向上 <ul style="list-style-type: none"> ・チームの活動および成果に対して、主体的に貢献することができる。 ・与えられた課題の本質的解決策を考え抜くことができる。 ・相手に対して効果的に伝わるプレゼンテーションを行うことができる。 ●共通学士力の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・学修成果可視化システムを活用して、自分自身の学士力到達度（現在のレベル）を把握することができる。 			
授業の概要			
<p>本講義は、座学と実践の2つの形式で行います。まずは座学で「キャリアデザインⅠ」で学んだ基本的な知識の再確認、社会で必要とされる力や先輩たちのキャリアデザインの最新状況の把握をします。座学でキャリアデザインのために必要な知識についての理解を深めていくと同時に、実践としては、1年次と同様PROGテストの受検・総括もふまえた自己の現状分析、グループワークでの経験もふまえた客観的な自己評価を行い、将来社会に出て活躍するために在学中にどのような力を身に付けるべきかを考えていきます。具体的には、授業前半で、大学1年次の取り組みについてアセスメントツールを活用して自己評価をしたり、自己分析についての他者評価をもらったりしながら自己理解を深めます。その際には自身が学んでいる専門科目と社会のつながりを意識することが必要になります。</p> <p>授業後半では、企業課題を解決する PBL (Project Based Learning : 課題解決型学習) を通じて、チームに主体的に貢献する力、本質的解決策を考え抜く力、プレゼンテーション力を養います。状況に応じて課外でのグループ活動が必要となる場合もあります。グループの状況や期日までの期間を鑑み判断し取り組んでください。最終的には、「社会（想定されるキャリア）で求められる力」と「現状の自身の力（自己認識）」を前提に、卒業時までの目標設定・行動計画の立案を行います。（各回の細かな内容は下記授業計画を参照のこと）</p>			
実務経験を活かした教育について			
<p>大学生のキャリア形成、若年層の定着支援、人材育成等の支援経験を活かし、キャリア教育コーディネーターとして一人ひとりが自らの働き方や生き方を主体的に捉え、社会人基礎力の向上と合わせ、納得感を持ちキャリアを形成するための仕組みを構築する。</p>			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
講義時にプリントや冊子、講義資料を適宜配布する。			
参考書等			
成績評価方法・基準			
<p>①「PROGテストを受検する・結果のフィードバックを受ける」(50%) ②「2回分（第8回、第11回、第12回）のグループプレゼンテーション結果」(50%) 以上①②を総合的に判断し、得点60%以上に達した者に単位を認定する。</p>			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
各課題については、授業時に全体に対しフィードバックを行う。			
備考			

2	キャリアデザインⅡ	FGE-CCS-302	必修 1単位 2 年前期
	Career Design II		
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（上段予習・下段復習）	目安時間(時)
第1回	ガイダンス・キャリア概論① キャリアデザインⅠの振り返り・キャリアデザインⅡの	共通学士力、社会人基礎力について確認しておく キャリアデザインⅠで作成した『自分企画書』の内容を確認する	0.5 0.5
第2回	キャリア概論② ワークシートを記載し、グループワークでプレゼンテー	『自分企画書』の修正、改良案を立てる グループプレゼンテーションの結果から、ワークシートに記載した内容を再度自己吟味し、加筆修正してみる	0.5 0.5
第3回	進路研究①（ゲストプレゼン含） 大学院進学 『院』に進むということ	大学院への進学における考え方をまとめる	0.5
第4回	進路研究②（ゲストプレゼン含） 就職することとはなにか	自身の進路について、大学院に入るという選択肢をシミュレーションしてみる 学科の就職先について調べる	0.5 0.5
第5回	自己理解と能力測定アセスメントテスト（PROG テスト）の受検	自身のこれまでの経験を振り返る 設問に対しての自身の経験を振り返る	0.5 0.5
第6回	進路研究③（ゲストプレゼン含） インターンシップ最前線	企業インターンシップについての理解を深めておく インターン先についての最新情報を調べる	0.5 0.5
第7回	PBL実習プラクティス①（課題発見プロセス） ゲストから提供された課題発見シミュレーション（グル	ゲストから提供された課題映像を視聴しておく。グループワークに関するノウハウを過去のレジュメなどにて振り返っておく グループワークで発見した課題についての解決策を構築する	0.5 0.5
第8回	PBL実習プラクティス②（課題解決プロセス） ゲストから提供された課題解決シミュレーション（プレ	第7回でのグループワークを踏まえ、課題解決のための方策をプレゼンテーション資料にまとめ発表準備をしておく プレゼン後、グループにて結果検証をする	0.5 0.5
第9回	PBL実習①（課題発見プロセス） ゲストから提供された課題発見（グループワーク）	実習プラクティス同様、ゲストからの課題映像を視聴し、新規グループにて課題解決をする準備をしておく グループにて課題解決のためのプランを練る	0.5 0.5
第10回	PBL実習②（課題解決プロセス） ゲストから提供された課題解決（グループワーク）	練ったプランをよく検証し、本プランの構築準備をする 資料やプレゼンテーションの準備をしておく	0.5 0.5
第11回	PBL実習③（課題解決プレゼンテーション予選） ゲストから提供された課題に対する解決策のプレゼンテ	資料作成・発表準備 プレゼン後、グループにて結果検証をする	0.5 0.5
第12回	課題プレゼンテーション大会（選抜グループ） 同じ課題を与えられた各クラスの代表チームによるプレ	与条件（テーマ）の確認をしておく 自グループと他グループのプレゼンテーション内容の差異を分析し、何が評価につながったのかつながらなかったのかを把握する	0.5 0.5
第13回	アセスメントツールを活用して自身の特性を理解する P ROG テスト結果のフィードバックと解説	第5回授業の内容を確認する復習 今後のアクションプランを再考する	0.5 0.5
第14回	全体の振り返り（第2回作成ワークシートをもとにして改良） 卒業までの目標とアクションプランの確認・修正（上記ワークシートをもとにプランを新たなシートに作成する）	第2回作成ワークシートの内容を確認しておく 新たに設定したアクションプランの実践	0.5 0.5

3	キャリアデザインⅢ	FGE-CCS-503	必修 1単位 3 年前期
	Career Design III		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
<input type="radio"/>	単独(1人が全回担当)	教職科目 (工業)	
<input type="radio"/>	複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)	教職科目 (情報)	
<input type="radio"/>	オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)	教職科目 (商業)	
<input type="radio"/>	クラス分け(クラス分けで担当する)	地域志向科目	
		<input type="radio"/> 実務経験のある教員担当	
		<input type="radio"/> アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学科3年全組 石井 きらら 玉村 太知 曳田 英里奈 鳥村 理人			
授業の達成目標			
<p>●キャリアデザイン力の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの大学生活を振り返り、自分自身の特性や社会の状況などを踏まえて、卒業後の進路を意識した現実的なキャリアをデザインすることができる。 目指すキャリアの実現のために必要なことを整理し、中長期の目標と計画を立て、在学中に実行に移すことができる。 <p>●ベーシックスキルの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 進路選択の活動を円滑に進めるために必要な基礎スキルを身に付けている。 業界研究や企業研究等、進路選択に関する研究を自分の力で行うことができる。 <p>●共通学士力の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> より高いレベルの学士力を身に付けるために必要な方法を考え、実行に移すことができる。 			
授業の概要			
<p>本授業は、授業達成目標の「キャリアデザイン力養成」と「ベーシックスキルの向上」「共通学士力」に向けて、キャリアデザインⅡに引き続き、キャリア観を踏まえた自己特性および社会理解を中心に、就職活動の基礎能力向上を目指し授業を行う。</p> <p>●授業計画前半では、キャリアデザインⅠ、Ⅱを経て蓄積された自己特性の情報とキャリアアップに関する意識を整理し、夏のインターンシップに向けた準備とキャリア・就職活動でも基盤となる自己理解、仕事理解を中心にインプットをメインとした授業を展開。</p> <p>●授業計画後半では、インプットした情報をよりリアルな企業情報をもとに、企業レポート、履歴書をベースとしたアウトプットへシフトし、キャリアデザインでの学びを改めて整理しながらアウトプットスキルを高めていく。最終的には、キャリアデザインⅠ、キャリアデザインⅡの学びを整理し、自身の進路および企業選択に必要なスキルを高め納得のいくキャリアアップに繋げていく。</p>			
実務経験を活かした教育について			
<p>大学生のキャリア形成、若年層の定着支援、人材育成等の支援経験を活かし、キャリア教育コーディネーターとして一人ひとりが自らの働き方や生き方を主体的に捉え、社会人基礎力の向上と合わせ、納得感を持ちキャリアを形成するための仕組みを構築する。</p>			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
<p>講義時にプリントや冊子、講義資料を適宜配布する。</p>			
参考書等			
成績評価方法・基準			
<p>①「適職診断MATCHplusを受検する・結果のフィードバックを受ける」(50%)</p> <p>②「企業団体レポート/履歴書/アクションプランシート」計3点全ての課題提出(50%)</p> <p>以上の①②を総合的に評価し、合わせて60%以上に達した者に単位を認定する。</p>			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
<p>各課題については、授業時に全体に対しフィードバックを行う。</p>			
備考			

3	キャリアデザインⅢ	FGE-CCS-503	必修 1単位 3 年前期
	Career Design III		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	キャリア概論① キャリアデザインⅡの振り返り・キャリアデザインⅢの	キャリアデザインⅠ、Ⅱの学びを整理する 自身のキャリアについて再考する	0.5 0.5
第2回	就職活動基礎力プログラム① インターンシップの傾向を知り、対策をする	インターンシップ参加の目的を整理する 夏のインターンシップ参加に向けて候補企業をリストアップする	0.5 0.5
第3回	学内インターンシップについて 大学院のすすめ	大学院への進学における考え方をまとめる 学内インターンシップ応募方法について整理する	0.5 0.5
第4回	就職活動基礎力プログラム② 自己理解と能力測定～適職診断MATCHplusの受	キャリアデザインⅠ、Ⅱで使用したワークシートを整理する 適職診断MATCHplusの結果を基に自己理解を深める	0.5 0.5
第5回	就職活動基礎力プログラム③ 自己理解を深める～自己分析～	適職診断MATCHplus受検結果を振り返る 自己理解を基に自身のスキルや経験を整理する	0.5 0.5
第6回	就職活動基礎力プログラム④ 仕事理解を深める～仕事研究～	自身の興味のある業界、企業について纏める 仕事研究を基にインターンシップ参加企業を幅広く探す	0.5 0.5
第7回	就職活動基礎力プログラム⑤ 第一印象をUPする～マナー対策～	自身のマナーの知識を把握する マナー対策で学んだ内容を日常的に使用してみる	0.5 0.5
第8回	キャリア概論② 人事担当者による選考面接のポイント	選考のフローを確認する 面接のポイントを振り返り選考対策に繋げる	0.5 0.5
第9回	キャリア概論③ 人事担当者によるパネルディスカッション	登壇企業について調べ、質問を考える 登壇企業の特徴について纏める	0.5 0.5
第10回	キャリア概論④ 人事担当者によるパネルディスカッション	登壇企業について調べ、質問を考える 登壇企業の特徴について纏める	0.5 0.5
第11回	就職活動基礎力プログラム⑥ 履歴書の作成	大学指定履歴書を確認しておく 第13回の講義に向けて履歴書の作成を進める	0.5 0.5
第12回	就職活動基礎力プログラム⑦ 面接対策	自身の履歴書の内容を発言する際のポイントを整理する 第13回の講義に向けて今までの学びを整理する	0.5 0.5
第13回	就活基礎力プログラム⑦ アウトプットトレーニング	自己PR、ガクチカ、学業について纏める アウトプットトレーニングを経て良かった点、反省点を整理する	0.5 0.5
第14回	全体の振り返り 卒業までの目標とアクションプランシートの確認・修正	授業全体で印象に残っている授業をピックアップ 今後のアクションプランの見直しと実践	0.5 0.5

4	人工知能総論	FGE-CCS-121	必修 1単位 1 年前期
	Artificial Intelligence Literacy		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
単独(1人が全回担当)		教職科目 (工業)	 
複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)		教職科目 (情報)	
○ オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)		教職科目 (商業)	
クラス分け(クラス分けで担当する)		地域志向科目	
		○ 実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学科1年全組 木戸 博 室山 真徳 井上 雅史 船木 尚己 菅原 景一 多田 美香 竹内 透 青山 純 八巻 俊輔 長崎 智宏 畠山 雄豪 二瀬 由理			
授業の達成目標			
人工知能 (AI, Artificial Intelligence) やデータサイエンス (データから価値を引き出す科学) とはどのようなものか、AI を取り巻く幅広い研究分野と応用について学び、AI が生む新たな価値を理解し、今後のデジタル社会において、AI やデータサイエンスを日常のすことができる基礎的素養を主体的に身に付けることが目標である。			
授業の概要			
AI ・データサイエンスの概要、AI の日常生活への適用事例や、各研究分野への適用事例を知ることにより、AI ・データサイエンスとはどのようなものかを学ぶ。統計解析および機械学習といった AI の仕組みや作られ方に関連する話題を、科学技術計算ソフトウェアの利用事例を通じて学ぶ。各専門分野における研究開発や実務経験を活かして、問題解決・対応力を養成し、AI を利用して何ができるかを学ぶ。			
実務経験を活かした教育について			
民間企業において研究開発に従事した実績を踏まえ、その経験談から実務への対応力を学ぶ。省庁などにおいてデータ解析業務に従事した実績を踏まえ、その経験談から実務への対応力を学ぶ。			
メディア授業の実施形態			
オンデマンド			
教科書等			
授業で使用する資料は学習支援システム (LMS) 等で配布する。 参考書: 「ディープラーニングG検定 ジェネラリスト公式テキスト」一般社団法人日本ディープラーニング協会 監修, 翔泳社 「教養としてのデータサイエンス (データサイエンス入門シリーズ)」北川他編著・内田他著, 講談社			
参考書等			
成績評価方法・基準			
学習支援システム (LMS) で実施される確認テストにおいて、規定回数以上で合格点をとること。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
確認テストに出題する内容は授業の中で説明している。不明なときは資料や動画を見直すこと。			
備考			

4	人工知能総論	FGE-CCS-121	必修 1単位 1 年前期
	Artificial Intelligence Literacy		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	社会におけるデータ・人工知能利活用 担当: 木戸博	LMSに掲載される資料を事前に閲覧して予習する。 資料等を活用して各授業内容を復習し、LMSの確認テストを受ける。	2 2
第2回	電気電子・情報通信分野でのデータ・AI利活用 担当: 室山真徳, 井上雅史	LMSに掲載される資料を事前に閲覧して予習する。 資料等を活用して各授業内容を復習し、LMSの確認テストを受ける。	2 2
第3回	建築・土木分野でのデータ・AI利活用 担当: 船木尚己, 菅原景一	LMSに掲載される資料を事前に閲覧して予習する。 資料等を活用して各授業内容を復習し、LMSの確認テストを受ける。	2 2
第4回	環境応用化学分野・経営コミュニケーション分野でのデータ・AI利活用	LMSに掲載される資料を事前に閲覧して予習する。 資料等を活用して各授業内容を復習し、LMSの確認テストを受ける。	2 2
第5回	デザイン分野でのデータ・AI 利活用 担当: 長崎智宏, 畠山雄豪	LMSに掲載される資料を事前に閲覧して予習する。 資料等を活用して各授業内容を復習し、LMSの確認テストを受ける。	2 2
第6回	数理統計の基礎 担当: 青山純, 竹内透	LMSに掲載される資料を事前に閲覧して予習する。 資料等を活用して各授業内容を復習し、LMSの確認テストを受ける。	2 2
第7回	データの可視化 担当: 青山純, 竹内透	LMSに掲載される資料を事前に閲覧して予習する。 資料等を活用して各授業内容を復習し、LMSの確認テストを受ける。	2 2
第8回	データ加工の基礎 担当: 青山純, 竹内透	LMSに掲載される資料を事前に閲覧して予習する。 資料等を活用して各授業内容を復習し、LMSの確認テストを受ける。	2 2
第9回	データ・AI利活用における留意事項 担当: 田中明美	LMSに掲載される資料を事前に閲覧して予習する。 資料等を活用して各授業内容を復習し、LMSの確認テストを受ける。	2 2
第10回	MATLABによる統計解析 (記述統計) 担当: 八巻俊輔	LMSに掲載される資料を事前に閲覧して予習する。 資料等を活用して各授業内容を復習する。	2 2
第11回	MATLABによる統計解析 (データ近似) 担当: 八巻俊輔	LMSに掲載される資料を事前に閲覧して予習する。 資料等を活用して各授業内容を復習し、LMSの確認テストを受ける。	2 2
第12回	MATLABによる機械学習 (ワークフロー) 担当: 八巻俊輔	LMSに掲載される資料を事前に閲覧して予習する。 資料等を活用して各授業内容を復習する。	2 2
第13回	MATLABによる機械学習 (分類モデル) 担当: 八巻俊輔	LMSに掲載される資料を事前に閲覧して予習する。 資料等を活用して各授業内容を復習し、LMSの確認テストを受ける。	2 2
第14回	まとめと総復習 担当: 木戸博	これまで学んだ部分を予めまとめておく。 資料等を活用して各授業内容を総復習する。	2 2

5	人工知能入門	FGE-CCS-222	選択 1単位 1年後期
	Introduction to Artificial Intelligence		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
単独(1人が全回担当)		教職科目 (工業)	 
○ 複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)		教職科目 (情報)	
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)		教職科目 (商業)	
クラス分け(クラス分けで担当する)		地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学科 1 年全組 中山 英久 八巻 俊輔			
授業の達成目標			
人工知能 (AI, Artificial Intelligence) とはどのようなものか、AI 技術や AI に関する幅広い知識について学び、人工知能のジェネラリストとしての素養を高めることが目標である。			
授業の概要			
AI 発展の経緯や、機械学習およびディープラーニングの概要、手法に関する知識を学ぶ。JDLA 主催の G 検定ジェネラリスト試験の出題範囲に沿った問題を通じ、問題に関連する AI の知識について学ぶ。将来的に AI 関連事業に携わる場合、AI に関する事柄で話が出来て、円滑に事業が進められるよう、多くの AI 技術を知識として蓄える。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
オンデマンド型			
教科書等			
徹底攻略 ディープラーニング G 検定 ジェネラリスト問題集 第2版 明松真司 著, 田原真一 著, 杉山将 監修 インプレス 2021			
参考書等			
これ1冊で最短合格 ディープラーニングG検定ジェネラリスト要点整理テキスト&問題集 第2版 浅川伸一 監, 遠藤太郎 技術校閲, 山下長義 著, 他5名 秀和システム 2022 深層学習教科書 ディープラーニング G検定(ジェネラリスト)公式テキスト 第2版 一般社団法人日本ディープラーニング協会 監修, 猪狩宇司 著, 他13名 翔泳社 2021			
成績評価方法・基準			
学習支援システム (LMS) で実施される確認テスト6回について、すべて合格点をとること。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
確認テストに出題する内容は授業の中で説明している。不明なときは、資料や動画を見直すこと。			
備考			

5	人工知能入門	FGE-CCS-222	選択 1単位 1年後期
	Introduction to Artificial Intelligence		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	人工知能をめぐる歴史と動向	LMS に掲載される資料を事前に閲覧して予習する。	2
第2回	機械学習の基礎	LMS に掲載される資料を事前に閲覧して予習する。	2
第3回	機械学習の具体的な手法	LMS に掲載される資料を事前に閲覧して予習する。	2
第4回	人工知能の基礎数学	LMS に掲載される資料を事前に閲覧して予習する。	2
第5回	ディープラーニングの概要	LMS に掲載される資料を事前に閲覧して予習する。	2
第6回	ディープラーニングの手法	LMS に掲載される資料を事前に閲覧して予習する。	2
第7回	まとめと総復習	これまで学んだ部分を予めまとめておく。	2
第8回		資料等を活用して各授業内容を総復習する。	2
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			

6	人工知能基礎	FGE-CCS-523	選択 2単位 3 年前期
	Basic Exercises of Artificial Intelligence Programming		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
<input type="radio"/>	単独(1人が全回担当)	教職科目 (工業)	 
	複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)	教職科目 (情報)	
	オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)	教職科目 (商業)	
	クラス分け(クラス分けで担当する)	地域志向科目	
		<input type="radio"/> 実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学科 3 年全組 木戸 博			
授業の達成目標			
人工知能 (AI, Artificial Intelligence) を構築する上で不可欠なプログラミングの基礎を理解し、簡単な AI プログラムを自力で作成できるようになることを目指す。			
授業の概要			
AI構築に有用なプログラミング言語MATLABを用いて、機械学習やディープラーニング（深層学習）のプログラム作成の基礎を解説する。さらに、AIプログラムの作成や MATLABアプリを用いた分析などの実践を通して AIの理解を深める。なお、プログラミング初心者の受講を想定して、限られた時間内で可能な限り基本的な事項から説明する。※ MATLABの入手先：本学情報サービスセンターMathWorks包括契約 (MATLAB) https://www.infcm.tohtech.ac.jp/matlab/			
実務経験を活かした教育について			
担当教員は、省庁においてニューラルネットワークを含む統計的手法を用いたデータ解析業務に従事した経験を有し、実践的な業務に対応できるスキルを養成する。			
メディア授業の実施形態			
オンデマンド			
教科書等			
授業で使用する資料はLMSで配布する。 参考書：「ディープラーニングG検定 ジェネラリスト公式テキスト第2版」一般社団法人日本ディープラーニング協会監修、翔泳社(021) 参考URL：「MathWorks社」 https://jp.mathworks.com/			
参考書等			
成績評価方法・基準			
提出必須の課題をすべて提出した上で、学修支援システム (LMS) で実施される確認テストの成績に基づき評価を行う。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
確認テストに出題する内容は授業の中で説明しているので、不明なときは資料や動画を見直すこと。			
備考			

6	人工知能基礎	FGE-CCS-523	選択 2単位 3 年前期
	Basic Exercises of Artificial Intelligence Programming		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	講義説明, MATLABの概要	資料を事前に読んでおく。 自分の PC に MATLAB をインストールして動作を確認する。	2 2
第2回	プログラミングの基礎	資料を事前に読んでおく。 サンプルプログラムを打ち込み動作を確認する。	2 2
第3回	アルゴリズムとデータ構造	資料を事前に読んでおく。 サンプルプログラムを通して理解を深める。	2 2
第4回	データの可視化	資料を事前に読んでおく。 サンプルプログラムを通して理解を深める。	2 2
第5回	分析設計	資料を事前に読んでおく。 出題された提出必須の課題に取り組む。	2 2
第6回	記述統計	資料を事前に読んでおく。 サンプルプログラムを通して理解を深める。	2 2
第7回	多変量解析	資料を事前に読んでおく。 サンプルプログラムを通して理解を深める。	2 2
第8回	機械学習の概要	「人工知能総論」「人工知能入門」で学んだ内容を確認しておく。 資料等を活用して授業内容の理解を深める。	2 2
第9回	教師あり機械学習のプログラム	資料を事前に読んでおく。 サンプルプログラムを通して理解を深める。	2 2
第10回	教師なし機械学習のプログラム	資料を事前に読んでおく。 出題された提出必須の課題に取り組む。	2 2
第11回	深層学習の概説	「人工知能総論」「人工知能入門」で学んだ内容を確認しておく。 資料等を活用して各自授業内容の理解を深める。	2 2
第12回	ニューラルネットプログラムの基礎	資料を事前に読んでおく。 サンプルプログラムを通して理解を深める。	2 2
第13回	深層学習のプログラム	資料を事前に読んでおく。 サンプルプログラムを通して理解を深める。	2 2
第14回	AIの構築と運用	資料を事前に読んでおく。 この授業で学んだ事項についてまとめる。	2 2

7	人工知能応用	FGE-CCS-624	選択 2単位 3年後期
	Application of Artificial Intelligence		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
<input type="radio"/>	単独(1人が全回担当)	教職科目 (工業)	 
	複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)	教職科目 (情報)	
	オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)	教職科目 (商業)	
	クラス分け(クラス分けで担当する)	地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		<input type="radio"/> アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学科 3年全組 中山 英久			
授業の達成目標			
人工知能 (Artificial Intelligence:AI) を支える技術である機械学習に必要なアルゴリズム、およびユーザーインターフェイスに関するプログラミングを理解するため、AIの構築と運用に関する具体的な課題として、“AIじゃんけんシステム”の構築に取り組む。カ画像情報を利用した“AIじゃんけんシステム”を構築すること、またその改良を検討することで、AIの構築と運用ができるようになる。			
授業の概要			
小型コンピュータ Raspberry Pi を利用したシステムを想定し、世界中のAIエンジニアが用いているプログラミング言語 Python を用いて、ニューラルネットワークやディープラーニング (深層学習) のプログラムを作成する。データの前処理アルゴリズムやGUI利用学習モデルの活用について、実践的なプログラミングを通してコーディングのデザインパターンを学習し、“AIじゃんけんシステム”解決型学習により、AIの構築と運用に対する理解を深める。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
対面授業 8回とオンデマンド型メディア授業 6回			
教科書等			
カラー図解 Raspberry Pi ではじめる機械学習 基礎からディープラーニングまで 金丸隆志 著 講談社 2018			
参考書等			
高校数学からはじめるディープラーニング 初歩からわかる人工知能が働くしくみ 金丸隆志 著 講談社 2020			
成績評価方法・基準			
演習課題の提出結果に基づき評価する。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
演習課題に関する内容は対面授業の中で説明している。不明なときは、資料や動画を見直すこと。			
備考			

7	人工知能応用	FGE-CCS-624	選択 2単位 3年後期
	Application of Artificial Intelligence		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	PythonでAIシステムを構築するための準備	教科書の第1章～第3章を読んで予習しておく。 PythonでAIシステムを構築するための準備について復習する。	2 2
第2回	ニューラルネットワークを用いた手書き数字の分類 (1) 数字データの性質と多層パーセプトロン	教科書の第6章6.1～6.6を読んで予習しておく。 数字データの性質と多層パーセプトロンについて不確実な部分を復習する。	2 2
第3回	ニューラルネットワークを用いた手書き数字の分類 (2) GUIアプリケーション	教科書の第6章6.7～6.8を読んで予習しておく。 GUIアプリケーションについて不確実な部分を復習する。	2 2
第4回	ニューラルネットワークを用いた手書き数字の分類 (3) 演習	手書き数字の分類 (ニューラルネットワーク版) の演習を行う。 理解の不確実な部分について、積み残さないようにする。	2 2
第5回	ディープラーニングを用いた手書き数字の分類 (1) 深層学習モデルの利用法	教科書の第10章10.1～10.5を読んで予習しておく。 深層学習ライブラリの利用法について不確実な部分を復習する。	2 2
第6回	ディープラーニングを用いた手書き数字の分類 (2) 深層学習モデルの実装	教科書の第10章10.6を読んで予習しておく。 深層学習ライブラリの実装について不確実な部分を復習する。	2 2
第7回	ディープラーニングを用いた手書き数字の分類 (3) 演習	手書き数字の分類 (ディープラーニング版) の演習を行う。 理解の不確実な部分について、積み残さないようにする。	2 2
第8回	AIじゃんけんシステムの構成	教科書の第7章を読んで予習しておく。 AIじゃんけんシステムを構築する上で、その構成について不確実な部分を復習する。	2 2
第9回	AIじゃんけんシステムの実装	教科書の第8章を読んで予習しておく。 AIじゃんけんシステムの実装について不確実な部分を復習する。	2 2
第10回	AIじゃんけんシステム (ニューラルネットワーク版) の完成	教科書の第9章を読んで予習しておく。 AIじゃんけんシステムの実装について不確実な部分を復習する。	2 2
第11回	AIじゃんけんシステム (ディープラーニング版) の完成	教科書の第10章10.7を読んで予習しておく。 AIじゃんけんシステムの実装について不確実な部分を復習する。	2 2
第12回	AIじゃんけんシステムの改良	AIじゃんけんシステムを運用する上で、改良の可能性について検討する。 改良項目についてまとめる。	2 2
第13回	AIじゃんけんシステムの発展	AIじゃんけんシステムの改良項目の実装を行う。 実装結果についてまとめる。	2 2
第14回	まとめと総復習	これまで学んだ事項を予めまとめておく。 学んだ事項について総復習する。	2 2

8	表象文化論	FGE-CCS-211	選択 2単位 1年後期
	Culture and Representation		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○	単独(1人が全回担当)	教職科目 (工業)	 
	複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)	教職科目 (情報)	
	オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)	教職科目 (商業)	
	クラス分け(クラス分けで担当する)	地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学科 1年全組 河内 聡子			
授業の達成目標			
表象文化論についての基礎知識を習得するとともに、表象を多角的に捉える力を身につける。			
授業の概要			
本講義においては、諸メディア（芸術・映画・アニメ・マンガ等）で再現・表現された様々なイメージについて、その歴史的背景や文化的文脈とのかかわりも踏まえて分析、考察を行う。まず表象・文化とはどのようなものかについて確認した上で、設定した時代・テーマに関するイメージを解説し、同時に広く文化・時代状況について検討する。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
毎回プリントを配付し、それに従って講義を進める。			
参考書等			
参考の書籍やURL等がある場合は講義中に紹介する。			
成績評価方法・基準			
テスト（60%）とレポート課題（2回）（40%）により評価する。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
課題については、授業時に全体に対しフィードバックを行う。			
備考			

8	表象文化論	FGE-CCS-211	選択 2単位 1年後期
	Culture and Representation		
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（上段予習・下段復習）	目安時間(時)
第1回	ガイダンス：表象文化におけるアニメーション	シラバス通読の上、準備学習を行う。 ガイダンス内容の確認とコメントの記述。	2
第2回	日本アニメの誕生	日本の古いアニメについて調べる。 講義内容（日本アニメの誕生）の確認とコメント記述。	2
第3回	アニメの技術革新—セル画とトーキー—	アニメの作り方について調べる。 講義内容（アニメの技術革新）の確認とコメント記述。	2
第4回	アニメの大衆化—メディアとしての普及と受容—	メディアとは何かについて調べる。 講義内容（アニメの大衆化）の確認とコメント記述。	2
第5回	アニメの技術と表現—日本と海外との比較に見る—	海外のアニメにどのようなものがあるかを調べる。 講義内容（日本と海外の比較）の確認とコメント記述。	2
第6回	アニメと社会—文化装置としてのアニメ—	アニメの社会的影響について調べる。 講義内容（文化装置のアニメ）の確認とコメント記述。	2
第7回	アニメと社会—産業化・商業化するアニメ—	アニメの興行収入について調べる。 内容（アニメの産業・商業化）確認とコメント記述。	2
第8回	作品の鑑賞と解説「桃太郎 海の神兵」—国策メディアとしてのアニメ—	「国策メディア」にどのようなものがあるか調べる。 講義内容（「国策メディア」）の確認とコメント記述。	2
第9回	作品の鑑賞と解説「桃太郎 海の神兵」—アニメにおける戦争表象—	戦争を扱ったアニメにどのような作品があるか調べる。 講義内容（アニメの戦争表象）の確認とコメント記述。	2
第10回	テレビアニメの登場と展開—劇場アニメとの比較による検討—	テレビおよびアニメ放送の歴史について調べる。 講義内容（テレビアニメの歴史）確認とコメント記述。	2
第11回	手塚治虫と虫プロダクション—その挑戦と革新—	手塚治虫がどのような人物か調べる。 講義内容（手塚アニメ）の確認とコメント記述。	2
第12回	高畑勲・宮崎駿とスタジオジブリ—「アニメ監督」の登場—	高畑勲・宮崎駿がどのような人物か調べる。 講義内容（スタジオジブリ）の確認とコメント記述。	2
第13回	作品の鑑賞と解説「AKIRA」—物語内容の分析と検討—	「AKIRA」の作品内容について調べる。 講義内容（「AKIRA」）の確認とコメント記述。	2
第14回	まとめと試験	配付プリント全てについて確認とコメントの総まとめ。 試験内容の復習。	2

9	現代社会論	FGE-CCS-212	選択 2単位 1 年前期
	Modern Sociology		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
<input type="radio"/>	単独(1人が全回担当)	教職科目 (工業)	
<input type="radio"/>	複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)	教職科目 (情報)	
<input type="radio"/>	オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)	教職科目 (商業)	
<input type="radio"/>	クラス分け(クラス分けで担当する)	地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		<input type="radio"/> アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学科 1 年全組 牛渡 亮			
授業の達成目標			
日本社会が高度経済成長のなかでいかに変容してきたのかについて理解し、現代日本社会の特徴を理解するための視点を養う。			
授業の概要			
日本社会は戦後の高度経済成長を通して大きく変貌を遂げてきた。本講義では、私たちが生きている現代日本社会の成り立ちや特徴を理解することを目的に、高度経済成長が私たちの生活にもたらした変化、その意味について探求する。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
授業ごとに資料を配布し、それにしたがって授業を進めるため、教科書は使用しない。			
参考書等			
これ以外の参考書については、授業内で適宜紹介する。 社会学 改訂版 長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志 有斐閣 2019 社会学 第五版 アンソニー・ギデンズ 而立書房 2009 社会学史 大澤真幸 講談社 2019 スチュアート・ホール 牛渡亮 東信堂 2017			
成績評価方法・基準			
レポート (30%×3回=90%) とコメントペーパーの内容 (10%) によって総合的に評価する。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
課題については、授業時に全体に対しフィードバックを行う。			
備考			
毎回授業終了時にコメントペーパーを作成して提出してもらいます。いただいた質問や意見については、次の授業の冒頭で解説や補足をを行ったうえで、皆さんとのディスカッションを通じてさらに理解を深めてもらいます。			

9	現代社会論	FGE-CCS-212	選択 2単位 1 年前期
	Modern Sociology		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	ガイダンス：現代社会と社会学	参考書をもとに、社会学とは何かを調べる。	2
第2回	社会構造が変える家族の生活	参考書をもとに、高度経済成長とは何かを調べる。 高度経済成長期の日本に起きた変化を復習する。	2
第3回	近代家族における役割の変化	参考書をもとに、家族とはどのような集団かを調べる。 近代家族の特徴を復習し、参考書を読み進める。	2
第4回	現代社会における結婚	参考書をもとに、結婚の意義とは何かを調べる。 非婚化・晩婚化の要因を復習し、参考書を読み進める。	2
第5回	現代社会における出産	参考書をもとに、子どもを持つことの意義を調べる。 少子化の要因を復習し、参考書を読み進める。	2
第6回	ここまでのまとめと第1回レポートの課題提示・ディスカッション	これまでの授業資料を読み返し、論点を整理する。 課題とこれまでの授業内容との関連を復習し、みずからの立場・意見を確立する。	2
第7回	社会的自己の構造	参考書をもとに、相互作用とは何かを調べる。 自己の形成過程を復習し、参考書を読み進める。	2
第8回	逸脱とラベリング	参考書をもとに、逸脱とは何かを調べる。 逸脱とラベリングの関係を復習し、参考書を読み進める。	2
第9回	文化と再生産	参考書をもとに、平等とは何かを調べる。 文化を通じた階層の再生産過程を復習し、参考書を読み進める。	2
第10回	ここまでのまとめと第2回レポートの課題提示・ディスカッション	これまでの授業資料を読み返し、論点を整理する。 課題とこれまでの授業内容との関連を復習し、みずからの立場・意見を確立する。	2
第11回	貧困と普通	参考書をもとに、子どもの貧困の現状について調べる。 絶対的貧困と相対的貧困の違いを復習し、参考書を読み進める。	2
第12回	介護と虐待	参考書をもとに、高齢化の現状について調べる。 アンペイドワークについて復習し、参考書を読み進める。	2
第13回	ひきこもりとアイデンティティ	参考書をもとに、アイデンティティとは何かを調べる。 2つのアイデンティティの違いを復習する。	2
第14回	ここまでのまとめと第3回レポートの課題提示・ディスカッション	これまでの授業資料を読み返し、論点を整理する。 課題とこれまでの授業内容との関連を復習し、みずからの立場・意見を確立する。	2

10	東北文化史	FGE-CCS-311	選択 2単位 2 年前期
	Cultural history of Tohoku		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○	単独(1人が全回担当)	教職科目 (工業)	
	複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)	教職科目 (情報)	
	オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)	教職科目 (商業)	
	クラス分け(クラス分けで担当する)	○ 地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学科 2 年全組 佐々木 集相			
授業の達成目標			
東北を舞台としたアニメ、漫画、映画、小説、評論を通じて、東北の諸地域がどのように意識され、表現されているかを考える。東北各県をめぐるイメージや価値観が、従来どのように形成されてきたかをあつげ、現在どのように変化しているかを理解することを目標とする。また、そのようなイメージの形成および変化の過程で、どのような文脈や背景があるのかを、歴史的な流れの中で把握することを目指す。			
授業の概要			
東北地方の各地域は中央の都に対する周縁の地方として位置づけられ、地方・自然・人情・懐古などのイメージで表現されてきた。この授業では、アニメなどのサブカルチャーを含めて様々な表現作品から東北のイメージを探り、現在までに作られつつある価値観を考えていく。また、東北の中における「宮城」および「仙台」のイメージや位置づけなどについても考察する。参加者には、自分の経験や知識をふまえた、主体的かつ積極的な意見表明を期待する。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
毎回プリントを配付し、それに従って講義を進める。参考の書籍や URL 等がある場合は講義中に紹介する。			
参考書等			
成績評価方法・基準			
テスト (70%) とレポート課題 (1 回) (30%) により評価する。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
課題については、授業時に全体に対しフィードバックを行う。			
備考			

10	東北文化史	FGE-CCS-311	選択 2単位 2 年前期
	Cultural history of Tohoku		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第 1 回	ガイダンスー視点と方法ー	シラバスを通読の上、準備学習を行う。	2
第 2 回	東北の物語 1 『くまみこ』(1)ー物語のなかの東北イメージー	ガイダンス内容の確認と、コメントを記述する。	2
第 3 回	東北の物語 2 『くまみこ』(2)ー「地方」と「都会」の関係性ー	アニメ『くまみこ』について調べる。	2
第 4 回	東北の物語 3 『おもひでぼろぼろ』ー描かれた東北の自然と人ー	講義内容 (東北イメージ) の確認とコメント記述。	2
第 5 回	東北の物語 4 『おしん』ーおしんブームと東北ー	「地方」と「都会」のイメージについて調べる。	2
第 6 回	「東北」の物語 5 レキシ「狩りから稲作へ」ー「東北」の物語 / 「日本」の物語ー	講義内容 (地方と都会) の確認とコメント記述。	2
第 7 回	東北の歴史 1 古代ー『アテルイ伝』を見るー	アニメ『おもひでぼろぼろ』について調べる。	2
第 8 回	東北の歴史 2 中世ー『炎立つ』を見るー	講義内容 (東北の自然と人) の確認とコメント記述。	2
第 9 回	東北の歴史 3 近世ー「飢饉」から見る東北ー	ドラマ『おしん』について調べる。	2
第 10 回	東北の歴史 4 近代ー『八重の桜』を見るー	講義内容 (おしんブーム) の確認とコメント記述。	2
第 11 回	東北の歴史 5 現代ー開発と挫折から見る東北ー	事前配布資料を読み、気になった内容を調べる。	2
第 12 回	東北の文化・思想 1 民俗・信仰ー東北に棲む「鬼」ー	講義内容 (レキシ「狩りから稲作へ」) の確認とコメント記述。	2
第 13 回	東北の文化・思想 2 生命をめぐる思想ー安藤昌益・新井奥達・宮沢賢治ー	「アテルイ」について調べる。	2
第 14 回	まとめと試験	「奥州藤原氏」について調べる。	2
		講義内容 (『炎立つ』) の確認とコメント記述。	2
		江戸時代の飢饉について調べる。	2
		講義内容 (「飢饉」から見る東北) の確認とコメント記述。	2
		「戊辰戦争」について調べる。	2
		講義内容 (『八重の桜』) の確認とコメント記述。	2
		東北の開発の歴史について調べる。	2
		講義内容 (開発と挫折から見る東北) の確認とコメント記述。	2
		東北の「鬼」について調べる。	2
		講義内容 (東北に棲む「鬼」) の確認とコメント記述。	2
		東北の思想家について調べる。	2
		講義内容 (生命をめぐる思想) の確認とコメント記述。	2
		配付プリント全てについて復習とコメントの総まとめ。	2
		試験内容の復習。	2

11	環境問題とエコロジー	FGE-CCS-312	選択 2単位 2年前期
	Environmental Issues and Ecology		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
単独(1人が全回担当)		教職科目 (工業)	
複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)		教職科目 (情報)	
○オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)		教職科目 (商業)	
クラス分け(クラス分けで担当する)		地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		○メディア授業	
クラス・担当教員			
2年全組 山田 一裕 佐野 哲也			
授業の達成目標			
持続可能な開発目標 (SDGs:Sustainable development Goals) で取り上げられている環境分野に関連する諸問題 (安全な水の供給、クリーンなエネルギーの供給、持続可能な生産、気候変動への対策、海洋資源の持続的利用、森林資源の持続的利用) について理解す			
授業の概要			
産業革命以降の急速な人口増加と経済活動の拡大により、人類は大きな課題に直面している。環境問題を理解するために必要なエコロジーに関する知識を学び、環境問題について理解し、社会的な動きを見ていく。また、自然と共生する社会を築くための基盤となる考え方として、自然から与えられる恵と災害とを認識する。授業を通して、日常生活や地域社会などの身近な場面で、社会の一員として地球環境を維持していくために自らできることを考える。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
オンデマンド			
教科書等			
参考書等			
ECO 検定公式テキスト 東京商工会議所 日本能率協会 環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書 環境省 環境省			
成績評価方法・基準			
確認テスト 40%、レポート課題 60%で評価して、合計が 60%以上の者を合格とする。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
提出課題については評価後、よくある誤りや寄せられた見解についてコメントする。			
備考			

11	環境問題とエコロジー	FGE-CCS-312	選択 2単位 2年前期
	Environmental Issues and Ecology		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	ガイダンス・生態学(エコロジー)について	シラバスを読んで講義の概要を予習する。 エコロジーという言葉の意味について復習をする。	2 2
第2回	持続可能な開発目標 (SDG s) について	SDG s が定められた背景について予習をする。 SDG s の内容について復習する。	2 2
第3回	安全な水の供給	安全な水の供給に関わる問題について予習する。 安全な水の供給に向けた取り組みについて復習する。	2 2
第4回	水に関連する生態系の保護	水に関連する生態系の保護に関わる問題について予習する。 水に関連する生態系の保護に向けた取り組みについて復習する。	2 2
第5回	海洋の保全と持続的利用	海洋の保全と持続的利用に関わる問題について予習する。 海洋の保全と持続的利用に向けた取り組みについて復習する。	2 2
第6回	持続可能な消費と生産	持続可能な消費と生産に関わる問題について予習する。 持続可能な消費と生産に向けた取り組みについて復習する。	2 2
第7回	地球の気候とバイオーム	地球の気候とバイオームについて予習する。 地球の気候とバイオームについて復習する。	2 2
第8回	熱帯雨林の保全	熱帯多雨林における環境問題について予習する。 熱帯多雨林における環境問題について復習する。	2 2
第9回	生物多様性	生物多様性の意味について予習する。 生物多様性の意味と具体例について復習する。	2 2
第10回	砂漠化・森林火災	砂漠化・森林火災の事例について予習する。 砂漠化・森林火災について復習する。	2 2
第11回	気候変動と海洋	気候変動と海洋について予習する。 気候変動と海洋について復習する。	2 2
第12回	地球温暖化問題	地球温暖化の事例について予習をする。 地球温暖化対策について復習をする。	2 2
第13回	大気汚染の問題	大気汚染問題の事例について予習をする。 大気汚染問題の解決策についてまとめる。	2 2
第14回	再生可能エネルギーについて	エネルギー問題について予習をする。 各種再生可能エネルギーについてメリットとデメリットをまとめる。	2 2

12	市民と法	FGE-CCS-411	選択 2単位 2年後期
	Introduction to Law		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○	単独(1人が全回担当)	教職科目 (工業)	
	複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)	教職科目 (情報)	
	オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)	教職科目 (商業)	
	クラス分け(クラス分けで担当する)	地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学科 2年全組 片山 文雄			
授業の達成目標			
法・裁判の現状と考え方に触れ、基礎的な知識を修得すること。法から社会を知ること。			
授業の概要			
社会が複雑化するなか、トラブル解決の手段としての法・裁判はますます重要になっている。裁判員制度のように、市民が法・裁判に いっそう深くかかわる機会もふえてきた。本講義では、法・裁判のしくみと法的な考え方について、具体的に、根本から考える。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
自作プリントによる。			
参考書等			
教室で紹介する。			
成績評価方法・基準			
LMS上で行う毎回の小テストの累計(40点)と、期末試験(60点)による。積極的な授業参加を評価し、加点する場合がある。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
講義開始時の質問などへの応答と、LMS上でフィードバックする。			
備考			

12	市民と法	FGE-CCS-411	選択 2単位 2年後期
	Introduction to Law		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	序	(予習) シラバスを読んでくる。	2
第2回	法とは何か	(予習) 法とは何かについて調べる。	2
第3回	法の種類	(予習) 法の種類について調べる。	2
第4回	裁判とは何か	(予習) 裁判とは何かについて調べる。	2
第5回	裁判の種類: 民事裁判と刑事裁判	(予習) 民事裁判と刑事裁判について調べる。	2
第6回	民事裁判 その実体(1) 契約	(予習) 契約について調べる。	2
第7回	民事裁判 その実体(2) 物権、不法行為	(予習) 物権、不法行為について調べる。	2
第8回	民事裁判 その手続	(予習) 民事裁判の手続について調べる。	2
第9回	刑事裁判 その実体(1) 犯罪	(予習) 刑事裁判における犯罪について調べる。	2
第10回	刑事裁判 その実体(2) 刑罰	(予習) 刑事裁判における刑罰について調べる。	2
第11回	刑事裁判 その手続(1) 捜査	(予習) 刑事裁判における捜査について調べる。	2
第12回	刑事裁判 その手続(2) 起訴から判決まで	(予習) 刑事裁判の起訴から判決までの流れについて調べる。	2
第13回	裁判所・裁判官	(予習) 裁判所や裁判官について調べる。	2
第14回	裁判員制度	(予習) 裁判員制度について調べる。	2
		(復習) 裁判員制度について、配付資料を確認する。	2

13	暮らしと心理学	FGE-CCS-412	選択 2単位 2年後期
	Everyday Life and Psychology		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○単独(1人が全回担当)		教職科目 (工業)	
複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)		教職科目 (情報)	
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)		教職科目 (商業)	
クラス分け(クラス分けで担当する)		地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学科 2年全組 小川 和久			
授業の達成目標			
日常生活場面での人間行動を心理学の立場からとらえることで、自己理解と他者理解の視点を学ぶ。また、精神的健康を維持するために、心と身体の関係性を理解するとともに、ストレスに関する理解を深め、その知識と対処法を実生活に生かせることを目標とする。			
授業の概要			
パーソナリティ、適応、ストレスの問題等、一般心理学の基礎を知るとともに、人間行動の心理が日々の社会生活とどのように関わっているかを理解していく。とくに現代社会はストレス社会と言われて久しい。メンタルヘルスの問題を理解し、ストレス軽減のために必要な心身のストレスマネジメントの方法を考えていく。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
テキスト 自作資料参考書・参考資料等 適宜指示			
参考書等			
成績評価方法・基準			
小レポート課題 (30%)、定期試験 (70%) にもとづき総合的に評価する。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
授業中あるいはLMS上でフィードバックする。			
備考			

13	暮らしと心理学	FGE-CCS-412	選択 2単位 2年後期
	Everyday Life and Psychology		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	心の健康とは何か	シラバスを読んで授業概要を理解してくる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2
第2回	パーソナリティ①：類型論	「パーソナリティ理論」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2
第3回	パーソナリティ②：特性論	「パーソナリティ理論」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2
第4回	パーソナリティ③：タイプA行動パターン	「タイプA行動パターン」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2
第5回	交流分析：構造分析・交流パターン分析	「交流分析」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2
第6回	欲求と適応①：欲求階層理論	「欲求階層理論」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2
第7回	欲求と適応②：フラストレーション反応	「フラストレーション」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2
第8回	欲求と適応③：葛藤	「葛藤」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2
第9回	ストレスの概念	「ストレスの概念」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2
第10回	ストレス理論	「ストレス理論」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2
第11回	リフレーミング	「リフレーミング」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2
第12回	ストレスと心身症	「心身症」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2
第13回	コーピング	「コーピング」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2
第14回	心理療法とストレスマネジメント	「ストレスマネジメント」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2

14	科学思想史	FGE-CCS-413	選択 2単位 2年後期
	History of Scientific Thought		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○	単独(1人が全回担当)	教職科目 (工業)	
	複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)	教職科目 (情報)	
	オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)	教職科目 (商業)	
	クラス分け(クラス分けで担当する)	地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学科 2 年全組 高橋 秀太郎			
授業の達成目標			
科学の思想そのものが問われ、科学と社会の関係、文明における科学の役割が問題とされている現在、古代・中世から近代、現代に至るまでの科学の発達の歴史を、その時代の社会的・思想的諸条件との関連を踏まえて理解できるようにする。			
授業の概要			
社会の発展は科学によって支えられてきたが、科学の発展もまた社会と緊密な関係を取り結んでいる。科学との連携がいっそう重要となった現代社会の問題を考えるために、本講義では、科学と思想・宗教・文化との関わりを歴史的にみていくこととする。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
教科書は使用しない。			
参考書等			
適宜紹介する。			
成績評価方法・基準			
試験およびレポートを総合して評価する。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
課題については、授業時に、全体に対しフィードバックを行う。			
備考			

14	科学思想史	FGE-CCS-413	選択 2単位 2年後期
	History of Scientific Thought		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	イントロダクション	関連するキーワードについて調べて予習する。 配付資料などを確認して講義内容を復習する。	2 2
第2回	古代の科学 (I)	古代の科学に関連するキーワードについて調べて予習する。 配付資料 (古代の科学 (I)) などを確認して講義内容を復習する。	2 2
第3回	古代の科学 (II)	ギリシャとヘレニズム、ローマの科学に関連するキーワードについて調べて予習する。 配付資料 (古代の科学 (II)) などを確認して講義内容を復習する。	2 2
第4回	中世の科学とルネサンス	中世の科学とルネサンスに関連するキーワードについて調べて予習する。 配付資料 (中世の科学とルネサンス) などを確認して講義内容を復習する。	2 2
第5回	科学革命	科学革命に関連するキーワードについて調べて予習する。 配付資料 (科学革命) などを確認して講義内容を復習する。	2 2
第6回	啓蒙の時代：宗教と科学	啓蒙の時代、宗教と科学に関連するキーワードについて調べて予習する。 配付資料 (啓蒙の時代：宗教と科学) などを確認して講義内容を復習する。	2 2
第7回	進化論の登場	進化論に関連するキーワードについて調べて予習する。 配付資料 (進化論の登場) などを確認して講義内容を復習する。	2 2
第8回	科学の専門化と職業化	科学の専門化と職業化に関連するキーワードについて調べて予習する。 配付資料 (科学の専門化と職業化) などを確認して講義内容を復習する。	2 2
第9回	蓋然的推論の時代 (I)：確率の誕生	蓋然的推論 (確率の誕生) に関連するキーワードについて調べて予習する。 配付資料 (蓋然的推論の時代 (I)：確率の誕生) などを確認して講義内容を復習する。	2 2
第10回	蓋然的推論の時代 (II)：数値と客観性	数値と客観性に関連するキーワードについて調べて予習する。 配付資料 (蓋然的推論の時代 (II)：数値と客観性) などを確認して講義内容を復習する。	2 2
第11回	論理の革新	論理の革新に関連するキーワードについて調べて予習する。 配付資料 (論理の革新) などを確認して講義内容を復習する。	2 2
第12回	現代社会と科学 (I)：イデオロギーと科学	現代社会と科学に関連するキーワードについて調べて予習する。 配付資料 (現代社会と科学 (I)：イデオロギーと科学) などを確認して講義内容を復習する。	2 2
第13回	現代社会と科学 (II)：科学とその批判者	科学とその批判者に関連するキーワードについて調べて予習する。 配付資料 (現代社会と科学 (II)：科学とその批判者) などを確認して講義内容を復習する。	2 2
第14回	まとめと試験	第1 - 13 回の内容を復習し試験に備える。 試験内容について復習する。	2 2

15	現代メディア論 (ライフデザイン学部)	FGE-CCS-414	選択 2単位 2年後期
	Modern Media		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○単独(1人が全回担当)		教職科目 (工業)	
複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)		教職科目 (情報)	
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)		教職科目 (商業)	
クラス分け(クラス分けで担当する)		地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学科 2 年全組 牛渡 亮			
授業の達成目標			
主に書籍・雑誌、絵本、映像メディアについての基礎知識を習得するとともに、各メディアの分析方法を身につける。現代の各メディアの歴史的な展開と、我々の社会意識・文化状況との関係について理解する。			
授業の概要			
我々が日々接しているメディアは、消費社会の高度化と科学技術の進展を背景に、世界中を覆い尽くし、生活になくはならないものとなっている。本講義では、多様な意味を持つ「メディア」の 20 世紀以降の展開を概説し、さらにそれらが我々の社会・文化にどのような影響を与えてきたかについて考察を行う。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
授業ごとに資料を配布し、それにしたがって授業を進めるため、教科書は使用しない。			
参考書等			
これ以外の参考文献については、授業ごとに適宜紹介する。 メディア文化論 [改訂版] 吉見俊哉 有斐閣 2012 よくわかるメディア・スタディーズ [第2版] 伊藤守編著 ミネルヴァ書房 2015 よくわかる社会情報学 西垣通・伊藤守編著 ミネルヴァ書房 2015 スチュアート・ホール 牛渡亮 東信堂 2017			
成績評価方法・基準			
授業内で実施するレポート (30×3回=90%) とコメントペーパーの内容 (10%) によって総合的に評価する。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
課題については、授業時に全体に対しフィードバックを行う。			
備考			


15	現代メディア論 (ライフデザイン学部)	FGE-CCS-414	選択 2単位 2年後期
	Modern Media		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	現代社会とメディア ①メディア・リテラシー再考	参考文献をもとに、メディア・リテラシーとは何かを検討する。 授業の目的を復習し、参考文献を読み進める。	2 2
第2回	現代社会とメディア ②メディアとコード	参考文献をもとに、記号とは何かを検討する。 デコーディングの多方向性を復習し、参考文献を読み進める。	2 2
第3回	国家とメディア ①国民国家	参考文献をもとに、権力とは何かを検討する。 国民国家とメディアとの関係を復習し、参考文献を読み進める。	2 2
第4回	国家とメディア ②ナショナリズム	参考文献をもとに、ナショナリズムとは何かを検討する。 想像の共同体について復習し、参考文献を読み進める。	2 2
第5回	国家とメディア ③資本主義	参考文献をもとに、資本主義とは何かを検討する。 広告の機能について復習し、参考文献を読み進める。	2 2
第6回	国家とメディア ④ここまでのまとめと第1回レポートの課題提示 (映像視聴・ディスカッション)	これまでの授業資料を読み返し、論点を整理する。 レポート課題とこれまでの授業内容との関連を復習する。	2 2
第7回	世論とメディア ①オーディエンス	参考文献をもとに、世論とは何かを検討する。 弾丸効果理論と限定効果理論について復習し、参考文献を読み進める。	2 2
第8回	世論とメディア ②アジェンダ	参考文献をもとに、アジェンダとは何かを検討する。 アジェンダ設定理論について復習し、参考文献を読み進める。	2 2
第9回	世論とメディア ③リアリティ	参考文献をもとに、主観的現実とは何かを検討する。 培養理論と沈黙の螺旋について復習し、参考文献を読み進める。	2 2
第10回	世論とメディア ④ここまでのまとめと第2回レポートの課題提示 (映像視聴・ディスカッション)	これまでの授業資料を読み返し、論点を整理する。 レポート課題とこれまでの授業内容との関連を復習する。	2 2
第11回	報道とメディア ①理想的な被害者とは誰か	参考文献をもとに、ニュース番組の特徴を検討する。 犯罪報道の問題点を復習し、参考文献を読み進める。	2 2
第12回	報道とメディア ②理想的な貧困者とは誰か	参考文献をもとに、社会問題に関する報道の特徴を検討する。 階層の再生産におけるメディアの役割を復習し、参考文献を読み進める。	2 2
第13回	報道とメディア ③理想的なマイノリティとは誰か	参考文献をもとに、モラル・パニックとは何かを検討する。 パブリック・イメージの形成におけるメディアの役割を復習し、参考文献を読み進める。	2 2
第14回	報道とメディア ④ここまでのまとめと第1回レポートの課題提示 (映像視聴・ディスカッション)	これまでの授業資料を読み返し、論点を整理する。 レポート課題とこれまでの授業内容との関連を復習する。	2 2

16	市民と政治	FGE-CCS-511	選択 2単位 3 年前期
	Introduction to Politics		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○	単独(1人が全回担当)	教職科目 (工業)	
	複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)	教職科目 (情報)	
	オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)	教職科目 (商業)	
	クラス分け(クラス分けで担当する)	地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学科 3 年全組 片山 文雄			
授業の達成目標			
日本政治の現状と考え方に触れ、基礎的な知識を修得し、政治的判断力を養うこと。政治から社会を知ること。			
授業の概要			
政治はわれわれの社会生活を左右する。誰も政治から逃げられない。だから誰もが政治のしくみを理解し、その正しい方向性について考えるべきである。本講義では、政治のしくみと政治的な考え方について、そして現代日本における論点について、具体的に、根本から考える。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
自作プリントによる。			
参考書等			
教室で紹介する。			
成績評価方法・基準			
LMS上で行う毎回の小テストの累計(40点)と、期末試験(60点)による。積極的な授業参加を評価し、加点する場合がある。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
講義開始時の質問への応答と、LMS 上でフィードバックする。			
備考			

16	市民と政治	FGE-CCS-511	選択 2単位 3 年前期
	Introduction to Politics		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第 1 回	序	(予習) シラバスを読んでくる。	2
第 2 回	政治とは何か	(復習) 政治・政治学について、配付資料などを確認する。	2
第 3 回	権力	(予習) 政治とは何かについて調べる。	2
第 4 回	国家 (1) ステイト	(復習) 権力とは何かについて、配付資料などを確認する。	2
第 5 回	国家 (2) ネイション	(予習) 国家を形成するステイトについて調べる。	2
第 6 回	民主主義	(復習) 国家を形成するステイトについて、配付資料などを確認する。	2
第 7 回	日本政治の枠組	(予習) 国家を形成するネイションについて調べる。	2
第 8 回	政治家	(復習) 国家を形成するネイションについて、配付資料などを確認する。	2
第 9 回	政党 (1) 政党政治	(予習) 民主主義について調べる。	2
第 10 回	政党 (2) 日本の諸政党	(復習) 民主主義について、配付資料などを確認する。	2
第 11 回	内閣と総理大臣	(予習) 日本政治の枠組について調べる。	2
第 12 回	行政部	(復習) 内閣と総理大臣について、配付資料などを確認する。	2
第 13 回	利益団体	(予習) 行政部について調べる。	2
第 14 回	マスメディア	(復習) 利益団体について、配付資料などを確認する。	2
		(予習) マスメディアについて調べる。	2
		(復習) マスメディアについて、配付資料などを確認する。	2

17	産業社会と心理学	FGE-CCS-512	選択 2単位 3年前期
	Industrial Society and Psychology		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
<input type="radio"/>	単独(1人が全回担当)	教職科目 (工業)	 
	複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)	教職科目 (情報)	
	オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)	教職科目 (商業)	
	クラス分け(クラス分けで担当する)	地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		<input type="radio"/> アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学科 3年全組 小川 和久			
授業の達成目標			
幸福で安全な人間社会をつくるため、心理学が果たす役割は多々ある。人間行動の基礎を理解することで、ヒューマンエラーや産業事故を防止し、幸福で安全な社会生活を送るための視点を学ぶ。			
授業の概要			
この授業では、知覚、認知、注意、態度、適性など、主に認知心理学、産業心理学、交通心理学、社会心理学のトピックスを取りあげながら、産業事故の背景にある人間側の要因を理解していく。また、産業社会の安全を維持するための心理学アプローチについて考察する。さらに、人間行動の基礎を理解するために、簡便な心理実験を複数回実施する。自ら実験材料を作成し実験を実施するなど、能動的な体験学習を通して、人間行動の原理についての発見学習を促していく。またグループ作業による共同でのデータ整理と分析を通して、課題探求の意識を深めていく。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
テキスト 自作資料参考書・参考資料等 適宜指示			
参考書等			
成績評価方法・基準			
小レポート課題 (50%)、定期試験 (50%) にもとつき総合的に評価する。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
授業中あるいはLMS上でフィードバックする。			
備考			

17	産業社会と心理学	FGE-CCS-512	選択 2単位 3年前期
	Industrial Society and Psychology		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	知覚のしくみ①: ものの見え方	シラバスを読んで授業概要を理解してくる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2 2
第2回	知覚のしくみ②: 錯視の現象	「錯視」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2 2
第3回	知覚のしくみ③: 知覚と安全	「知覚」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2 2
第4回	知覚のしくみ④: 奥行知覚	「奥行知覚」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2 2
第5回	注意とは①: 注意の種類と特徴	「注意」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2 2
第6回	注意とは②: 注意の範囲	「注意」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2 2
第7回	注意とは③: 選択的注意・分割的注意	「注意の理論」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2 2
第8回	注意とは④: 視覚的注意	「視覚的注意」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2 2
第9回	動作と反応①: 反応時間	「反応時間」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2 2
第10回	動作と反応②: 反応時間と安全	「反応時間」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2 2
第11回	動作と反応③: 知覚-運動系の協応	「知覚と運動の協応」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2 2
第12回	認知と態度: リスクテイキングの心理	「リスクテイキング」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2 2
第13回	ヒューマンエラー①: 産業事故	「産業事故」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2 2
第14回	ヒューマンエラー②: 認知モデル	「ヒューマンエラー」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2 2

18	産業社会と倫理	FGE-CCS-513	選択 ※ C学科のみ必修 2単位 3年前期
	Industrial Society and Ethics		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
単独(1人が全回担当)		教職科目 (工業)	
複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)		○ 教職科目 (情報)	
○ オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)		教職科目 (商業)	
クラス分け(クラス分けで担当する)		地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学科 3年全組 古賀 高雄			
授業の達成目標			
倫理観をもって専門技術を応用し、人類福祉の実現、社会の持続・発展に貢献する人材となるための基本的資質を身につける。			
授業の概要			
産業、工学が社会および地球環境に及ぼす効果、価値に関する理解や責任など、それらに関わる者として社会に対する責任を自覚する能力を身につける。産業や工学の究極目的が人類の福祉の実現であること、また産業に携わる者や技術者の倫理観の欠如が、福祉とは逆に、社会および地球環境にとって大きな問題を生ぜしめている現状を理解する。ついで具体的な事例における倫理的な価値判断の方法を学ぶ。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
教科書は使用しない。			
参考書等			
理系のための科学技術者倫理 JABEE基準 対応 直江清隆・盛永審一郎編 丸善出版 2015			
成績評価方法・基準			
試験およびレポートを総合して評価する。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
提出されたレポートに示唆的な論点や問題点があれば、適宜授業で紹介する。			
備考			

18	産業社会と倫理	FGE-CCS-513	選択 ※ C学科のみ必修 2単位 3年前期
	Industrial Society and Ethics		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	ガイダンス	関連するキーワードについて調べて予習する。	2
		配付資料 (ガイダンス) などを確認して講義内容を復習する。	2
第2回	産業社会における技術者の倫理と責任 概説	産業社会における技術者の倫理と責任に関連するキーワードについて調べて予習する。	2
		配付資料 (産業社会における技術者の倫理と責任 概説) などを確認して講義内容を復習する。	2
第3回	倫理的判断の方法	倫理的判断の方法に関連するキーワードについて調べて予習する。	2
		配付資料 (倫理的判断の方法) などを確認して講義内容を復習する。	2
第4回	技術者の責任	技術者の責任に関連するキーワードについて調べて予習する。	2
		配付資料 (技術者の責任) などを確認して講義内容を復習する。	2
第5回	社会の中の技術者 I	社会の中の技術者に関連するキーワードについて調べて予習する。	2
		配付資料 (社会の中の技術者 I) などを確認して講義内容を復習する。	2
第6回	社会の中の技術者 II	関連するキーワードについて調べて予習する。	2
		配付資料 (社会の中の技術者 II) などを確認して講義内容を復習する。	2
第7回	地球環境問題と技術者 I	地球環境問題と技術者に関連するキーワードについて調べて予習する。	2
		配付資料 (地球環境問題と技術者 I) などを確認して講義内容を復習する。	2
第8回	地球環境問題と技術者 II	関連するキーワードについて調べて予習する。	2
		配付資料 (地球環境問題と技術者 II) などを確認して講義内容を復習する。	2
第9回	プロフェッショナルとしての技術者 I	プロフェッショナルとしての技術者に関連するキーワードについて調べて予習する。	2
		配付資料 (プロフェッショナルとしての技術者 I) などを確認して講義内容を復習する。	2
第10回	プロフェッショナルとしての技術者 II	関連するキーワードについて調べて予習する。	2
		配付資料 (プロフェッショナルとしての技術者 II) などを確認して講義内容を復習する。	2
第11回	地域の中の技術者 I	地域の中の技術者に関連するキーワードについて調べて予習する。	2
		配付資料 (地域の中の技術者 I) などを確認して講義内容を復習する。	2
第12回	地域の中の技術者 II	関連するキーワードについて調べて予習する。	2
		配付資料 (地域の中の技術者 II) などを確認して講義内容を復習する。	2
第13回	研究者としての責任と倫理	研究者としての責任と倫理に関連するキーワードについて調べて予習する。	2
		配付資料 (研究者としての責任と倫理) などを確認して講義内容を復習する。	2
第14回	まとめと試験	第1 - 13 回の内容を復習し試験に備える。	2
		試験を復習する。	2

19	情報社会の経済	FGE-CCS-611	選択 2単位 3年後期
	Information Society Economics		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
<input type="radio"/>	単独(1人が全回担当)	教職科目 (工業)	
	複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)	教職科目 (情報)	
	オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)	教職科目 (商業)	
	クラス分け(クラス分けで担当する)	地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学科 3年全組 舩谷 謙二			
授業の達成目標			
情報化社会における基本的な経済の仕組みを理解し、日本経済の現状を分析する力を養います。			
授業の概要			
構造改革、累積する国債、少子・高齢化と年金といった問題が山積している日本経済は、この先、安定的な成長路線に復帰できるのだろうか。この講義では、戦後の復興期、高度成長期から平成の「失われた20年」までを振り返りながら、第9回までは日本経済、それ以降は日本企業の全体像を解説し、金融・財政の仕組みにも言及しながら、今日の我々をとりまく経済の諸問題について考察する。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
教科書は使わず、毎回プリントを配付し、それにしたがって講義を進めます。映像資料も使います。			
参考書等			
参考書がある場合は講義中に紹介します。			
成績評価方法・基準			
課題レポート(50%)と内容理解度確認問題(50%)で総合的に評価する。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
課題については、授業時に、全体に対しフィードバックを行う。			
備考			

19	情報社会の経済	FGE-CCS-611	選択 2単位 3年後期
	Information Society Economics		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	今日の情報化社会と経済 (オリエンテーション)	シラバス通読の上、準備学習を行う。	2
第2回	日本と世界の経済の概況	配付プリント再確認。第1回講義内容確認問題解答。	2
第3回	戦後日本経済の歩み (復興期を中心に)	プリント「日本と世界の経済の概況」を使い予習。 プリント再確認。第2回講義内容確認問題解答。	2
第4回	高度経済成長の時代	プリント「戦後日本経済の歩み」を使い予習。 プリント再確認。第3回講義内容確認問題解答。	2
第5回	ニクソン・ショックとオイルショック	プリント「高度経済成長の時代」を使い予習。 プリント再確認。第4回内容確認問題解答。	2
第6回	貨幣と金融システム	プリント「ニクソン・ショックとオイルショック」を確認。 プリント再確認。第5回内容確認問題解答。	2
第7回	バブル経済の発生と崩壊	プリント「貨幣と金融システム」を使い予習。 プリント再確認。第6回内容確認問題解答。	2
第8回	失われた20年・30年	プリント「バブル経済の発生と崩壊」を使い予習。 プリント再確認。第7回内容確認問題解答。	2
第9回	世界経済危機と日本経済	プリント「失われた20年・30年」を使い予習。 プリント再確認。第8回内容確認問題解答。	2
第10回	情報社会の企業経営	プリント「世界経済危機と日本経済」を使い予習。 プリント再確認。第9回内容確認問題解答。	2
第11回	企業経営とヒト・モノ	プリント「情報社会の企業経営」を使い予習。 プリント再確認。第10回内容確認問題解答。	2
第12回	企業の投資決定 (資産選択)	プリント「企業経営とヒト・モノ」を使い予習。 プリント再確認。第11回内容確認問題解答。	2
第13回	企業統治と社会的責任	プリント「企業の投資決定 (資産選択)」を使い予習。 プリント再確認。第12回内容確認問題解答。	2
第14回	まとめ (振り返りと展望) ・これからの日本経済	プリント「企業統治と社会的責任」を使い予習。 プリント再確認。第13回内容確認問題解答。	2
		プリント「まとめ (振り返りと展望) ・これからの日本経済」を使い予習。 プリント再確認。第14回内容確認問題解答。	2

20	日本国憲法	FGE-CCS-612	選択 2単位 3年後期
	The Constitution of Japan		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○	単独(1人が全回担当)	教職科目 (工業)	
	複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)	教職科目 (情報)	
	オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)	教職科目 (商業)	
	クラス分け(クラス分けで担当する)	地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学科3年全組 片山 文雄			
授業の達成目標			
日本国憲法の歴史と考え方に触れ、基礎的な知識を修得すること。憲法から社会を知ること。			
授業の概要			
いま憲法をめぐる議論は極めて重要な政治的論点になっている。憲法の基本と役割を知ることがますます必要である。本講義では、憲法とは何か、その機能は何かについて、具体的に、根本から考える。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
日本国憲法の全文(講談社学術文庫版を推奨する)、『憲法判例集』(有斐閣新書)に加えて、毎回配付する自作プリントによる。 日本国憲法(講談社学術文庫) 講談社 2013 憲法判例集(第11版、有斐閣新書) 野中俊彦、江橋崇、渋谷秀樹(補訂)有斐閣 2016			
参考書等			
教室で紹介する。			
成績評価方法・基準			
LMS上で行う毎回の小テストの累計(40点)と、期末試験(60点)による。積極的な授業参加を評価し、加点する場合がある。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
講義開始時の質問への応答と、LMS上でフィードバックする。			
備考			

20	日本国憲法	FGE-CCS-612	選択 2単位 3年後期
	The Constitution of Japan		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	序	(予習) シラバスを読んでくる。	2
第2回	憲法の原理：立憲主義と民主主義	(復習) 憲法の本質について、配付資料を確認する。	2
第3回	日本国憲法成立史	(予習) 立憲主義と民主主義について調べる。	2
第4回	国民主権	(復習) 立憲主義と民主主義について、配付資料を確認する。	2
第5回	国会	(予習) 日本国憲法成立の歩みについて調べる。	2
第6回	内閣	(復習) 日本国憲法成立の歩みについて、配付資料を確認する。	2
第7回	裁判所	(予習) 国民主権について調べる。	2
第8回	人権の原理	(復習) 国民主権について、配付資料を確認する。	2
第9回	人権保障の方法：選挙と司法審査	(予習) 人権の原理について調べる。	2
第10回	自由権(1) 包括的自由権、表現の自由	(復習) 人権保障について調べる。	2
第11回	自由権(2) 信教の自由・政教分離、人身の自由	(復習) 人権保障について、配付資料を確認する。	2
第12回	自由権(3) 経済的自由権、平等権、参政権	(予習) 信教の自由・政教分離、人身の自由について調べる。	2
第13回	社会権、義務	(復習) 信教の自由・政教分離、人身の自由について、配付資料を確認する。	2
第14回	平和主義	(予習) 経済的自由権、平等権、参政権について調べる。(復習) 配付資料を確認する。	2
		(復習) 経済的自由権、平等権、参政権について、配付資料を確認する。	2
		(予習) 社会権、義務について調べる。	2
		(復習) 社会権、義務について、配付資料を確認する。	2
		(予習) 平和主義について調べる。	2
		(復習) 平和主義について、配付資料を確認する。	2

21	現代の哲学	FGE-CCS-711	選択 2単位 4 年前期
	Modern Philosophy		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○ 単独(1人が全回担当)		教職科目 (工業)	
複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)		教職科目 (情報)	
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)		教職科目 (商業)	
クラス分け(クラス分けで担当する)		地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学科 4 年全組 菅原 宏道			
授業の達成目標			
国家論・市民社会論を中心テーマとして西洋近代思想史の流れを辿り、現代社会の理解に役立てる。			
授業の概要			
17 世紀から 19 世紀にかけての市民革命をめぐる言説を学ぶことで「国家とは何か」「社会とは何か」について問う姿勢を養う。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
教科書はありません。各回に配布する講義レジュメに基づいて講義します。			
参考書等			
推奨する参考文献は講義時に適宜に紹介します。質問や相談を受けるオフィスアワーとその方法は初回の講義時に伝えます。			
成績評価方法・基準			
課題 (50%) と試験 (50%) で成績を評価します。 課題と試験の評価基準は以下の通りです。(1)近代および現代の哲学がどのような知的営みであるかを理解できる。(2)現代の哲学に る諸問題をさまざまな考え方や用語などによって理解できる。(3)現代の哲学における諸問題について、自分自身の主張とその理由を に伝えることができる。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
課題などに対する必要なフィードバックは、講義時に全体に対して、またはeメールを通じて個別に行います。			
備考			

21	現代の哲学	FGE-CCS-711	選択 2単位 4 年前期
	Modern Philosophy		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第 1 回	哲学と倫理学、導入としての近代哲学と現代哲学	シラバスを読み、講義の内容や進め方などを理解しておく。	2
第 2 回	啓蒙思想と市民革命	講義後は、学んだことを整理して理解し、以後の講義内容の基本的な知識として定着させる。 近代市民社会の成立について必要に応じて調べておく。	2
第 3 回	現代の哲学の源流1：マルクス主義と社会の構造	講義後は、啓蒙思想や市民革命などについて整理して理解し、知識や知性として定着させる。 マルクス主義について必要に応じて調べておく。	2
第 4 回	現代の哲学の源流2：ニーチェと近代社会批判	講義後は、マルクス主義などについて学んだことを整理して理解し、知識や知性として定着させる。 ニーチェの近代批判について必要に応じて調べておく。	2
第 5 回	現代の哲学の源流3：社会における市民の主体性	講義後は、ニーチェの近代批判などについて学んだことを整理して理解し、知識や知性として定着させる。 実存思想について必要に応じて調べておく。	2
第 6 回	構造の全体としての社会と文化	講義後は、実存思想などについて学んだことを整理して理解し、知識や知性として定着させる。 構造主義について必要に応じて調べておく。	2
第 7 回	権力および社会秩序の解体	講義後は、構造主義について学んだことを整理して理解し、知識や知性として定着させる。 ポスト構造主義について必要に応じて調べておく。	2
第 8 回	科学的知識および市民の問題解決としての真理	講義後は、ポスト構造主義について学んだことを整理して理解し、知識や知性として定着させる。 プラグマティズムについて必要に応じて調べておく。	2
第 9 回	共同体としての真理	講義後は、パースとジェイムズのプラグマティズムについて学んだことを整理して理解し、知識や知性として定着させる。 生物としてのヒトの適応反応について必要に応じて調べておく。	2
第 10 回	社会における規範について必要に応じて調べておく。	講義後は、デューイのプラグマティズムなどについて学んだことを整理して理解し、知識や知性として定着させる。 社会における規範について必要に応じて調べておく。	2
第 11 回	現代の国家観と社会観2：古典的自由主義とリベラリズム	講義後は、社会における規範について学んだことを整理して理解し、知識や知性として定着させる。 国家における自由と正義について必要に応じて調べておく。	2
第 12 回	現代の国家観と社会観3：リバタリアニズムとネオプラグマティズム	講義後は、国家における自由と正義について学んだことを整理して理解し、知識や知性として定着させる。 市民に対する国家的介入と市民の自治について必要に応じて調べておく。	2
第 13 回	現代の国家観と社会観4：コミュニタリアニズムと市民的共和主義	講義後は、国家的介入と自治について学んだことを整理して理解し、知識や知性として定着させる。 共同体に生まれ育つ負荷について必要に応じて調べておく。	2
第 14 回	現代の国家観と社会観5：ケイバビリティ・アプローチと基本財	講義後は、共同体に生まれ育つ負荷について学んだことを整理して理解し、知識や知性として定着させる。 現代の社会福祉国家について必要に応じて調べておく。	2
		講義後は、現代の社会福祉国家について学んだことを整理して理解し、知識や知性として定着させる。	2

22	コミュニティネットワーク論	LGE-CCS-141	必修 2単位 1 年前期
	Theory of Human Community and Network		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
単独(1人が全回担当)		教職科目 (工業)	
複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)		教職科目 (情報)	
○オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)		教職科目 (商業)	
クラス分け(クラス分けで担当する)		○地域志向科目	
		○実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学科1年全組 大沼 正寛 梅田 弘樹 下總 良則 谷本 裕香子 岸本 誠司 佐藤 飛鳥 小祝 慶紀			
授業の達成目標			
社会におけるコミュニティやネットワークの重要性を認識し、その基礎知識を身につけるとともに、事業企画・ものづくり・まちづくりの具体的課題において、これを参照・活用できるようになる。			
授業の概要			
コミュニティは、多様な人々が形成する小さな社会集団の根源的な形態であり、産業・経済・福祉・防災・文化のあらゆる局面において、協働主体となり得るものである。かつては、地縁共同体と同義という印象が強かったが、現在は、外部に開かれた動的な人的ネットワークとも強く連関している。とくに、ICT応用技術が発達した現在こそ、あるべき地域社会とライフデザインをみずえ、コミュニティやネットワークの意味を正しく理解することが不可欠といえる。本講義では、市民主導による価値の発見や評価、合意形成など、コミュニティやネットワークを中心とした事業企画・ものづくり・まちづくりに着目し、その背景や取り組み、手法や体制を多様な実践例から学び、本学部における知識・技術の共通基盤の一助とする。			
実務経験を活かした教育について			
地域で活躍する社会人がゲストスピーカーとして、活動内容の紹介を通してコミュニティ形成やネットワーク拡大について講話する。開講期によりゲストスピーカーに交代があるため、それぞれの実務経験については講義中に紹介する。			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
使用しない。参考図書については、各回の講義にて紹介する。			
参考書等			
成績評価方法・基準			
毎回のレポートをもとに評価する。A ゲスト講師の講義内容を的確に理解しているか (50%)、B 疑問点の抽出など主体的な学びが見られるか (30%)、C 持論を有し論理的に説明できるか (20%) の3項目から評価する。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
レポート課題のフィードバックは授業中に全体に対し行う。			
備考			

22	コミュニティネットワーク論	LGE-CCS-141	必修 2単位 1 年前期
	Theory of Human Community and Network		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	序論 大学・学部の学び／SDGs とライフデザイン／コミュニティとネットワーク	大学・学部・学科で何を学ぶのか、学生便覧を読む。 講義をもとにコミュニティ、ネットワークとは何かを考えておく。	2 2
第2回	産業デザイン編 (1) 総論・デザインの社会貢献的側面	デザインによる社会貢献の例について調べておく。 講義をもとにデザインの社会貢献的側面について再考する。	2 2
第3回	産業デザイン編 (2) ソーシャルデザインとコミュニティネットワーク	公的組織のデザイン関連の活動例について調べておく。 講義で示されたデザイン活動とCNの関係を考える。	2 2
第4回	産業デザイン編 (3) シェアリングサービスのデザインとコミュニティネットワーク	個人や企業のデザイン関連の活動例について調べておく。 講義で示された企業のデザイン活動とCNの関係を考える。	2 2
第5回	産業デザイン編 (4) 産業デザイン編のまとめ	前3回の講義内容を振り返り、総合的に考察しておく。 コミュニティネットワークを当該編の側面から再考する。	2 2
第6回	経営・交流編 (1) コミュニティネットワークと地域経営	産官学連携とは何か、基礎知識を調べておく。 講義をもとに自分の人的ネットワークと役割を確認する。	2 2
第7回	経営・交流編 (2) 都市経済と社会経営からみたコミュニティネットワーク	都市・地域における経済状況の差異について成情報収集しておく。 都市と地方の違い、コミュニティネットワークの活かし方を再考する。	2 2
第8回	経営・交流編 (3) 地域プロデュースの可能性	市民による地域の課題解決の事例を調べておく。 講義をもとに地域の課題を探し、解決策も考えてみる。	2 2
第9回	経営・交流編 (4) 経営・交流編のまとめ	前3回の講義内容を振り返り、総合的に考察しておく。 コミュニティネットワークを当該編の側面から再考する。	2 2
第10回	まちづくり編 (1) 地域デザインとコミュニティネットワーク	まちづくり・むらおこしなどの事例を調べておく。 次回以降の内容についてキーワードを抽出しておく。	2 2
第11回	まちづくり編 (2) 持続可能なまちづくりとコミュニティネットワーク	持続可能なまちづくりの課題について、基礎知識を調べておく。 講義をもとに世界的課題と日常生活について再考する。	2 2
第12回	まちづくり編 (3) 災害復興とコミュニティネットワーク	震災復興等について基礎知識を調べておく。 講義をもとに復興の持続性について考え、実践する。	2 2
第13回	まちづくり編 (4) まちづくり編のまとめ	前3回の講義内容を振り返り、総合的に考察しておく。 コミュニティネットワークを当該編の側面から再考する。	2 2
第14回	最終討論・コミュニティネットワークの可能性と課題	講義ノートをふりかえり、講師・内容を整理しておく。 授業の達成目標と理解度を各自がチェックする。	2 2

23	ネットワーク・コンピュータ基礎Ⅰ	LGE-CCS-142	必修 2単位 1 年前期
	Information Literacy Ⅰ		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○	単独(1人が全回担当)	教職科目 (工業)	
	複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)	教職科目 (情報)	
	オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)	教職科目 (商業)	
	クラス分け(クラス分けで担当する)	地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
1 年全学科全組 山口 茂			
授業の達成目標			
コンピュータ (パソコン) ・インターネットの基本的な使用方法を身につける。インターネット、モバイル機器の利用マナーを理解する。			
授業の概要			
インターネットを利用する方法と文章・表・プレゼンテーション資料の作成方法を、実際にパソコンを使用しながら学ぶ。インターネット、モバイル機器を利用してコミュニケーションをとる際のマナー、デジタル情報を扱う際の注意点について、テキストで学ぶ。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
以下の二つを併用する①『改訂第 3 版 基礎から分かる情報リテラシー』(技術評論社) ②『情報リテラシー入門編 改訂版』(FOM 出版) ※後期の「ネットワーク・コンピュータ基礎Ⅱ」では、②『情報リテラシー入門編 改訂版』(FOM 出版)のみを使用す			
参考書等			
成績評価方法・基準			
成績は、小テスト 40%、実習課題レポート提出 60%で評価する。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
課題レポートについては、授業時に、全体に対しフィードバックする。			
備考			

23	ネットワーク・コンピュータ基礎Ⅰ	LGE-CCS-142	必修 2単位 1 年前期
	Information Literacy Ⅰ		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第 1 回	本学情報システムの利用法	(予習) 大学の情報システムの利用法について調べる。	2
		(復習) 講義で学んだ情報システムを実際に使ってみる。	2
第 2 回	コンピュータ/Windows の基本操作、コンピュータとネットワークの仕組み (講義順序 ①第 1 章、第 10 章)	(予習) コンピュータの基本用語について予習する。	2
		(復習) コンピュータの基本操作と仕組みを復習する。	2
第 3 回	情報セキュリティ (講義順序 ② Lesson1、①第 11 章)	(予習) 情報セキュリティについて予習する。	2
		(復習) 各機器のセキュリティ対策について復習する。	2
第 4 回	個人情報の適切な取り扱い (講義順序 ② Lesson2、①第 2 章)	(予習) 個人情報を守る方法、文字入力の方法を確認する。	2
		(復習) 個人情報漏洩問題について復習する。	2
第 5 回	ネット社会に潜む危険と対策 (② Lesson4 ※①第 2 章)	(予習) ネット社会に潜む危険について予習する。	2
		(復習) ネットとの適切な付き合い方について復習する。	2
第 6 回	Web、SNS、モバイル機器によるコミュニケーション (講義順序 ② Lesson6、Lesson7)	(予習) Web、SNS、モバイル機器使用時のマナーについて確認。	2
		(復習) Web、SNS、モバイル機器使用時のマナーについて再確認。	2
第 7 回	情報と法律 (著作権) (講義順序 ①第 12 章、② Lesson3 M19-27)	(予習) 知的財産権、著作権について予習する。	2
		(復習) コピペの問題点、引用の方法について復習する。	2
第 8 回	メールによるコミュニケーション (講義順序 ①第 3 章、② Lesson5)	(予習) 電子メールの送受信の仕組み、マナーについて予習する。	2
		(復習) メールを使い方の基本について復習する。	2
第 9 回	文章作成 (Word) の基礎 (①第 5 章)	(予習) Word の基礎的な使用方法について予習する。	2
		(復習) Word の基礎的な使用方法の不明瞭な点について復習。	2
第 10 回	Word を用いたレポート作成の方法 (①第 5 章)	(予習) Word を用いたレポートの作成方法について予習する。	2
		(復習) Word でのレポート作成の練習を独自に行う。	2
第 11 回	表計算 (Excel) の基礎 (①第 6 章)	(予習) Excel の基礎的な使用方法について予習する。	2
		(復習) Excel の基礎的な使用方法の不明瞭な点について確認。	2
第 12 回	Excel で表を作る (①第 6 章)	(予習) Excel を用いた表作成の方法について予習する。	2
		(復習) 表作成の練習を独自に行う。	2
第 13 回	Excel で表計算を行う (①第 6 章)	(予習) Excel を用いた表計算の方法について予習する。	2
		(復習) 表計算の練習を独自に行う。	2
第 14 回	PowerPoint 資料の作成方法 (①第 7 章)	(予習) PowerPoint を用いた資料作成方法について予習する。	2
		(復習) PowerPoint を用いた資料作成の練習を独自に行う。	2

24	ネットワーク・コンピュータ基礎 II	LGE-CCS-244	必修 2単位 1年後期
	Information Literacy II		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○	単独(1人が全回担当)	○ 教職科目 (工業)	
	複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)	教職科目 (情報)	
	オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)	教職科目 (商業)	
	クラス分け(クラス分けで担当する)	地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学科 1 年全組 山口 茂			
授業の達成目標			
コンピュータを使用してレポート作成、データ整理、プレゼンテーション資料の作成ができるようになること。			
授業の概要			
レポート作成、データ整理、プレゼンテーション等に今や欠かせないものとなった MicrosoftOffice の操作方法について学ぶ。Word による文章作成、Excel による表計算とグラフ作成、PowerPoint によるプレゼンテーション資料の作成について、それらソフトの操作法について習得する。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
教科書 『情報リテラシー 入門編 改訂版』FOM 出版。参考書 市販の Microsoft Office に関する書籍、及び HELP を参照のこと。			
参考書等			
成績評価方法・基準			
課題提出 (60%)、期末試験 (40%) の成績に基づいて評価する。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
課題については、授業時に、フィードバックを行う。			
備考			

24	ネットワーク・コンピュータ基礎 II	LGE-CCS-244	必修 2単位 1年後期
	Information Literacy II		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第 1 回	ガイダンス Word、Excel、Power Point でできること 文字の入力と編集	(予習) テキストの内容を確認して予習する。 (復習) 文字入力、ファイルの保存等について復習する。	2 2
第 2 回	Word 基本的な文書の作成 図形の入力、表の挿入	(予習) 文字書式・段落書式の設定、図表の挿入について確認。 (復習) 実習データをテキストに沿って再度操作して復習する。	2 2
第 3 回	Word 文書の印刷、段組、タブ、長文レポートの編集	(予習) 印刷、段組、タブ、見出し、脚注について予習する。 (復習) 実習データをテキストに沿って再度操作して復習する。	2 2
第 4 回	Word 文書の校閲、数式ツール	(予習) 検索と置換、コメント、変更履歴、数式ツールを確認。 (復習) 実習データをテキストに沿って再度操作して復習する。	2 2
第 5 回	Word Word の総まとめ	(予習) テキストの練習問題を操作して予習する。 (復習) 実習データをテキストに沿って再度操作して復習する。	2 2
第 6 回	Excel 表の作成、表の編集	(予習) データ入力、数式や関数入力、罫線の設定について確認。 (復習) 再度操作。相対参照と絶対参照について必ず理解。	2 2
第 7 回	Excel 印刷、グラフ作成、データベースの操作	(予習) 印刷設定、グラフ作成、データベース機能について確認。 (復習) 実習データをテキストに沿って再度操作して復習する。	2 2
第 8 回	Excel 複数シートの操作、関数	(予習) シート間の集計、テキスト記載の7つの関数を確認。 (復習) 実習データをテキストに沿って再度操作して復習する。	2 2
第 9 回	Excel データベースの活用、Excel の総まとめ	(予習) テーブル、フィルターの複雑条件設定について確認。 (復習) テキストの練習問題を再度操作して復習する。	2 2
第 10 回	Power Point スライドの作成	(予習) プレゼンテーションの作成、図表の挿入について確認。 (復習) 実習データをテキストに沿って再度操作して復習する。	2 2
第 11 回	Power Point スライドの編集	(予習) プレゼンテーションの編集、特殊効果の設定について確認。 (復習) 実習データをテキストに沿って再度操作。	2 2
第 12 回	Power Point の総まとめ	(予習) テキストの練習問題を操作して予習する。 (復習) 実習データをテキストに沿って再度操作して復習する。	2 2
第 13 回	共通ファイルの貼り付け Excel から Word、Excel または Word から Power Point	(予習) データのリンク貼り付け、Power Point で Word や Excel データを利用する方法について予習する。 (復習) 再度操作	2 2
第 14 回	総まとめと試験	(予習) Word と Excel の練習問題を操作して予習する。 (復習) 不確実な部分についてはテキストに沿って再度操作。	2 2

25	数学的思考法	LGE-CCS-243	選択 2単位 1年後期
	Mathematical Thinking		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
単独(1人が全回担当)		教職科目 (工業)	
複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)		教職科目 (情報)	
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)		教職科目 (商業)	
○クラス分け(クラス分けで担当する)		地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
CD1年1組・2組、SD1年1組・2組、MC1年1組・2組 竹内 透 瀬谷 和夫 野崎 壽彦			
授業の達成目標			
数学の基礎的な知識を確実に身に着ける。			
授業の概要			
数学の基礎固めをしながら、社会現象を数式で予測する力を養う。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
教科書「ファーストステップ基礎数学」猪股俊光ほか著 森北出版			
参考書等			
成績評価方法・基準			
試験の総合点が 60 点以上を合格とする。期末試験 60 点。小テスト 40 点。小テストは毎時間実施する。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
小テストの採点結果を返却し、模範解答は支援講座で解説する。			
備考			

25	数学的思考法	LGE-CCS-243	選択 2単位 1年後期
	Mathematical Thinking		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	数の計算	数の計算に関する部分を読んで予習する。 教科書の問題を解き学習内容で不確実な部分を復習する。	2 2
第2回	式の計算	式の計算に関する部分を読んで予習する。 教科書の問題を解き学習内容で不確実な部分を復習する。	2 2
第3回	記数法	記数法に関する部分を読んで予習する。 教科書の問題を解き学習内容で不確実な部分を復習する。	2 2
第4回	方程式	方程式に関する部分を読んで予習する。 教科書の問題を解き学習内容で不確実な部分を復習する。	2 2
第5回	不等式	不等式に関する部分を読んで予習する。 教科書の問題を解き学習内容で不確実な部分を復習する。	2 2
第6回	集合	集合に関する部分を読んで予習する。 教科書の問題を解き学習内容で不確実な部分を復習する。	2 2
第7回	論理	論理に関する部分を読んで予習する。 教科書の問題を解き学習内容で不確実な部分を復習する。	2 2
第8回	場合の数、順列	場合の数と順列に関する部分を読んで予習する。 教科書の問題を解き学習内容で不確実な部分を復習する。	2 2
第9回	組み合わせ	組み合わせに関する部分を読んで予習する。 教科書の問題を解き学習内容で不確実な部分を復習する。	2 2
第10回	確率	確率に関する部分を読んで予習する。 教科書の問題を解き学習内容で不確実な部分を復習する。	2 2
第11回	条件付き確率	条件付き確率に関する部分を読んで予習する。 教科書の問題を解き学習内容で不確実な部分を復習する。	2 2
第12回	データの分析	データの分析に関する部分を読んで予習する。 教科書の問題を解き学習内容で不確実な部分を復習する。	2 2
第13回	相関係数	相関係数に関する部分を読んで予習する。 教科書の問題を解き学習内容で不確実な部分を復習する。	2 2
第14回	確率分布	確率分布に関する部分を読んで予習する。 教科書の問題を解き学習内容で不確実な部分を復習する。	2 2

26a	職業指導（工業）	FGE-CCS-531	選択※「工業」の免許状取得希望者のみ必修 2単位 3年前期
	Vocational Guidance		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
<input type="checkbox"/>	単独(1人が全回担当)	<input type="radio"/> 教職科目（工業）	
<input type="checkbox"/>	複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)	教職科目（情報）	
<input type="radio"/>	オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)	教職科目（商業）	
<input type="checkbox"/>	クラス分け(クラス分けで担当する)	地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		<input type="radio"/> アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学科3年全組 小川 和久			
授業の達成目標			
<p>工業社会で働くことになる生徒の指導にあたり、教師はまず適正な職業観をもつことが求められる。また教師は、生徒がモノ作りなどの生産の仕事に個人の成長と幸福感を得ることができるように、自己発見や自己理解が重要なことも指導する必要がある。その上で、現代の工業社会で課題となる職業選択、職業適性、能力開発等について基礎を学習し、生徒の主体的な問題発見と問題解決能力を育成するための教育の方法を習得するものとする。</p>			
授業の概要			
<p>現代社会の工業技術の変化は日進月歩で著しいものがあり、創造的な能力と適性が以前よりも増して強く求められている。一方で、旧き技術を大切にしながら、新たな工業技術の創造に努める工業社会の歴史と適性の概念の変遷を学ぶことも重要であり、職業観の形成、職業技能の習得過程、職業適性の諸理論の理解を通して、モノ作りを支える人たちのキャリア形成の問題に触れる。さらに、工業高校でのキャリア教育の授業計画作成をグループワークで行うことを通して、教育実践の具体例を学んでいく。</p>			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
自作資料を使用する。			
参考書等			
成績評価方法・基準			
グループ協議とその発表内容（20%）、複数回提出を求めるレポートの内容（80%）にもとつき総合的に評価する。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
発表内容およびレポート内容については、授業中にフィードバックする。			
備考			


26a	職業指導（工業）	FGE-CCS-531	選択※「工業」の免許状取得希望者のみ必修 2単位 3年前期
	Vocational Guidance		
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（上段予習・下段復習）	目安時間(時)
第1回	工業科における職業指導とは何か（中島）	シラバスを読んで授業概要を理解してくる。 ノート・配付資料などを確認する。	2
第2回	なぜ人は働くのか（小川）	「勤労観・職業観」について調べる。 ノート・配付資料などを確認する。	2
第3回	キャリア教育実践① 自己分析と適性（中島）	「キャリアプランと自己分析」について調べる。 ノート・配付資料などを確認する。	2
第4回	キャリア教育実践② キャリアプラン（中島）	「キャリアプランと自己分析」について調べる。 ノート・配付資料などを確認する。	2
第5回	キャリア教育実践③ 工業科における実践例（中島）	「キャリア教育実践」について調べる。 ノート・配付資料などを確認する。	2
第6回	職業選択と適性① 職業興味検査（小川）	「職業興味」について調べる。 ノート・配付資料などを確認する。	2
第7回	職業選択と適性② 適性の概念（小川）	「職業適性」について調べる。 ノート・配付資料などを確認する。	2
第8回	キャリア発達と諸理論（小川）	「キャリア発達」について調べる。 ノート・配付資料などを確認する。	2
第9回	職業技能① 職業技能の習得過程（小川）	「職業技能」について調べる。 ノート・配付資料などを確認する。	2
第10回	職業技能② 技能学習の訓練方法とその理論（小川）	「職業技能」について調べる。 ノート・配付資料などを確認する。	2
第11回	キャリア教育の授業設計① 目的・目標（中島）	「キャリア教育の授業設計」について調べる。 ノート・配付資料などを確認する。	2
第12回	キャリア教育の授業設計② 方法（中島）	「キャリア教育の授業設計」について調べる。 ノート・配付資料などを確認する。	2
第13回	工業科におけるキャリア教育の指導案作成① グループ協議と作成（小川）	「キャリア教育の指導案」について調べる。 ノート・配付資料などを確認する。	2
第14回	工業科におけるキャリア教育の指導案作成② 報告会（小川）	「キャリア教育の指導案」について調べる。 ノート・配付資料などを確認する。	2

教養


26b	職業指導（商業）	LGE-CCS-532	選択※「商業」の免許状取得希望者のみ必修 2単位 3年前期
	Vocational Guidance		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
単独(1人が全回担当)		教職科目（工業）	
複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)		教職科目（情報）	
○オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)	○	教職科目（商業）	
クラス分け(クラス分けで担当する)		地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
	○	アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
MC 3 年全組 小川 和久			
授業の達成目標			
国際化が進む中、流通ビジネス、経営情報などのグローバルな経営戦略の状況が急速に進展している。一方で安全安心を求める消費者のニーズが高まっている。厳しい競争社会と社会要請、そして急速なビジネス環境の変化の中にあっても、職業観をしっかりともち、サービスを提供する仕事を通して、個人の成長と幸福感が得られるような職業指導が教師に求められている。その上で、現代の商業社会で課題となる職業選択、職業適性、能力開発等を学び、働く力の基礎を育成するための教育の方法を習得するものとする。			
授業の概要			
現代の高校生の多くはアルバイトによる就業体験を通して職業観を形成している。しかし、賃金獲得以外の職業観の形成が未熟であるため、そのことが就職直後の高い離職率の一因となっている。消費者のニーズに応えながら自己成長等の「労働+αの個人の価値」を模索する生き方を伝えなくてはならない。さらに商業高校でのキャリア教育の授業計画作成をグループワークで行うことを通して、教育実践の具体例を学んでいく。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
自作資料を使用する。			
参考書等			
成績評価方法・基準			
グループ協議とその発表内容（20%）、複数回提出を求めるレポートの内容（80%）にもとつき総合的に評価する。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
発表内容およびレポート内容については、授業中にフィードバックする。			
備考			

教養

26b	職業指導（商業）	LGE-CCS-532	選択※「商業」の免許状取得希望者のみ必修 2単位 3年前期
	Vocational Guidance		
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（上段予習・下段復習）	目安時間(時)
第1回	なぜ人は働くのか（小川）	シラバスを読んで授業概要を理解してくる。 配付資料などを確認する。	2 2
第2回	商業科における職業指導とは何か（中島）	「勤労観・職業観」について調べる。 ノート・配付資料などを確認する。	2 2
第3回	キャリア教育実践① 自己分析と適性（中島）	「キャリアプランと自己分析」について調べる。 ノート・配付資料などを確認する。	2 2
第4回	キャリア教育実践② キャリアプラン（中島）	「キャリアプランと自己分析」について調べる。 ノート・配付資料などを確認する。	2 2
第5回	キャリア教育実践③ 商業科における実践例（中島）	「キャリア教育の実践」について調べる。 ノート・配付資料などを確認する。	2 2
第6回	職業選択と適性① 職業興味検査（小川）	「職業興味」について調べる。 ノート・配付資料などを確認する。	2 2
第7回	職業選択と適性② 適性の概念（小川）	「職業適性」について調べる。 ノート・配付資料などを確認する。	2 2
第8回	キャリア発達の諸理論（小川）	「キャリア発達」について調べる。 ノート・配付資料などを確認する。	2 2
第9回	職業技能① 職業技能の習得過程（小川）	「職業技能」について調べる。 ノート・配付資料などを確認する。	2 2
第10回	職業技能② 技能学習の訓練方法とその理論（小川）	「職業技能」について調べる。 ノート・配付資料などを確認する。	2 2
第11回	キャリア教育の授業設計① 目的・目標（中島）	「キャリア教育の授業設計」について調べる。 ノート・配付資料などを確認する。	2 2
第12回	キャリア教育の授業設計② 方法（中島）	「キャリア教育の授業設計」について調べる。 ノート・配付資料などを確認する。	2 2
第13回	商業科におけるキャリア教育の指導案作成①グループ協議と作成（中島）	「キャリア教育の指導案」について調べる。 ノート・配付資料などを確認する。	2 2
第14回	商業科におけるキャリア教育の指導案作成②報告会（中島）	「キャリア教育の指導案」について調べる。 ノート・配付資料などを確認する。	2 2

27	工業概論	FGE-CCS-533	選択※「工業」の免許状取得希望者のみ必修 2単位 3年前期
	Introduction to Industry		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○ 単独(1人が全回担当)		○ 教職科目 (工業)	
複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)		教職科目 (情報)	
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)		教職科目 (商業)	
クラス分け(クラス分けで担当する)		地域志向科目	
		○ 実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学科 3年全組 秋野 元彦			
授業の達成目標			
現代社会における工業の意義や役割を理解し、「どのようなものを、いかに作るか」を問い直す意識をもって、工業の各分野に関する基礎的な知識と技術・技能を修得することで、将来高等学校の工業教育にかかわる際に必要な資質を養うこと。それを通じて、工業高校の生徒に対して指導者として教育を行うために必要となる、工業教育への自信と力量を備えること。			
授業の概要			
本講義は、高等学校教員免許の取得を目指し、教職課程を履修している学生を対象とする講義である。高等学校において生徒に工業系科目の授業を提供するために必要となる、工業教育全体にかかわる機械、電気、情報、建築、化学、土木等の各分野のエッセンスを、演習や実習的要素を交えながら、問題演習に重点を置きつつ、幅広く講ずる。技術者としての倫理観や実践的な技術を修得させ、環境およびエネルギーに配慮しつつ、工業技術に関する諸問題を主体的・合理的に解決し、社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を養う。			
実務経験を活かした教育について			
担当教員は、工業高校教員としての経験と実績を生かし、工業教育の現場で使われている生きた知識や指導法を教授する。			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
教材プリント 工業技術基礎 山下省蔵、内藤善文、扇柳政則 実教出版 2022			
参考書等			
成績評価方法・基準			
課題(レポート含) (40%)、授業中の課題と取り組む姿勢(30%) 試験(30%)。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
LMS 上でフィードバックする。			
備考			

27	工業概論	FGE-CCS-533	選択※「工業」の免許状取得希望者のみ必修 2単位 3年前期
	Introduction to Industry		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	工業の主な学科の内容と理数系基礎問題	(予習) 工業の主な学科について予習する。 (復習) 配付資料などを参考に、主な学科等について復習する。	2 2
第2回	機械系の主な履修科目の目標と内容及び基礎問題	(予習) 機械系の内容について予習する。 (復習) 配付資料などを参考に、機械系の内容等について復習する。	2 2
第3回	電気・電子系の主な履修科目の目標と内容及び基礎問題	(予習) 電気・電子系の内容について予習する。 (復習) 配付資料などを参考に、電機・電子系の内容等について復習する。	2 2
第4回	電子機械系の主な履修科目の目標と内容及び基礎問題	(予習) 電子機械系の内容について予習する。 (復習) 配付資料などを参考に、電子機械系の内容等について復習する。	2 2
第5回	建築系の主な履修科目の目標と内容及び基礎問題	(予習) 建築系の内容について予習する。 (復習) 配付資料などを参考に、建築系の内容等について復習する。	2 2
第6回	土木系の主な履修科目の目標と内容及び基礎問題	(予習) 土木系の内容について予習する。 (復習) 配付資料などを参考に、土木系の内容等について復習する。	2 2
第7回	化学系の主な履修科目の目標と内容及び基礎問題	(予習) 化学系の内容について予習する。 (復習) 配付資料などを参考に、化学系の内容等について復習する。	2 2
第8回	情報系の主な履修科目の目標と内容及び基礎問題	(予習) 情報系の内容について予習する。 (復習) 配付資料などを参考に、情報系の内容等について復習する。	2 2
第9回	インテリア系の主な履修科目の目標と内容及び基礎問題	(予習) インテリア系の内容について予習する。 (復習) 配付資料などを参考に、インテリア系の内容等について復習する。	2 2
第10回	基礎製図と演習	(予習) 投影法と三角法について予習する。 (復習) 配付資料などを参考に、製図の基礎について復習する。	2 2
第11回	接頭語と単位の変換及び演習	(予習) 単位の変換について予習する。 (復習) 配付資料などを参考に、単位の変換等について復習する。	2 2
第12回	力学の基礎と演習	(予習) 力と運動について予習する。 (復習) 配付資料などを参考に、力学等について復習する。	2 2
第13回	資格取得と演習	(予習) 資格についてを予習する。 (復習) 配付資料などを参考に、資格取得について復習する。	2 2
第14回	まとめの試験	(予習) 第2回から第13回目での内容について予習する。 (復習) 配付資料などを参考に復習する。	2 2

28	フランスの文化と言葉	FGE-CCS-661	選択 2単位 3年後期
	Culture and Language of France		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○ 単独(1人が全回担当)		教職科目 (工業)	
複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)		教職科目 (情報)	
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)		教職科目 (商業)	
クラス分け(クラス分けで担当する)		地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学科3年全組 玉田 優花子			
授業の達成目標			
世界の多様な社会・言語についての基礎的な知識を身につけ、異文化に対する関心を深める。			
授業の概要			
フランスの歴史・文化・社会について、日本との比較を通して理解を深める。同時に初歩的なフランス語文法、会話を学び、フランスという国についての理解をさらに深める。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
教科書は使用せず、配布するプリントに従って授業を進める。			
参考書等			
適宜紹介する。			
成績評価方法・基準			
コメントカード(毎回授業終了後に感想や疑問等を書き、提出する) = 30% フランス文化レポート(中間・期末と2回実施。講義内容の中からテーマを自由に選び、論じる) = 30% フランス語テスト(数回実施。基礎的な知識の定着をはかる) = 40%			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
テスト・レポートについては、授業時に全体に対しフィードバックを行う。			
備考			

28	フランスの文化と言葉	FGE-CCS-661	選択 2単位 3年後期
	Culture and Language of France		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	ガイダンス	シラバスの通読	2
第2回	フランス社会と日本社会の国民性の比較 概論	ガイダンス内容の復習 日本にあるフランス由来のものを調べる フランスと日本の違いと共通点を再確認する	2 2 2
第3回	●フランス語の基礎① 挨拶 ●フランスと日本の比較 文化・習慣全般	フランス文化の世界的評価を調べる フランス文化・習慣と挨拶について復習する	2 2
第4回	●フランス語の基礎①-2 アルファベ ●フランスと日本の比較 政治・教育	日本とフランスの現在の政治形態を確認する アルファベについて再確認する	2 2
第5回	●フランス語の基礎①-3 アルファベと発音 ●フランスと日本の比較 歴史	日本とフランスの歴史について調べる フランス語の発音について再確認する	2 2
第6回	●フランス語の基礎①-4 挨拶をフランス語で書く ●フランスと日本の交流の歴史	フランスと日本の交流の歴史について調べる フランス語の挨拶を書く練習	2 2
第7回	フランス語の基礎①-5 フランス語で書き、話す(挨拶)	ここまで学んだフランス語の基礎を総復習 フランス語の挨拶を書き、話す練習	2 2
第8回	●フランス語の基礎②-1 文の基本的構成 ●フランスと日本の比較 地理	フランスの地理的情報について調べる フランス語の文の構成を再確認する	2 2
第9回	●フランス語の基礎②-2 動詞 ●フランスと日本の比較 産業・スポーツ	フランスの中心産業を調べる フランス語の動詞について再確認する	2 2
第10回	●フランス語の基礎②-3 名詞 ●フランスと日本の比較 抱えている問題	フランスの抱えている問題について調べる フランス語の名詞について再確認する	2 2
第11回	●フランス語の基礎②-4 冠詞 ●フランスと日本の比較 芸術	フランスの芸術について調べる フランス語の冠詞について再確認する	2 2
第12回	●フランス語の基礎②-5 フランス語で文を書く ●フランスの音楽文化	フランス語の品詞について、総復習 フランス語で文を書く練習	2 2
第13回	フランスの映像文化 概説	フランスの映像文化について調べる フランス語の挨拶について総復習	2 2
第14回	フランスの映像文化 フランス語を聞く/まとめ	フランス語の発音について総復習 授業で学んだフランスの映像文化について復習	2 2

29	韓国の文化と言葉	FGE-CCS-662	選択 2単位 3年後期
	Culture and Language of South Korea		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○	単独(1人が全回担当)	教職科目 (工業)	
	複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)	教職科目 (情報)	
	オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)	教職科目 (商業)	
	クラス分け(クラス分けで担当する)	地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学科3年全組 宋 貞熹			
授業の達成目標			
世界の多様な社会・言語についての基礎的な知識を身につけ、異文化に対する関心を深める。			
授業の概要			
韓国の歴史・文化・社会について、日本との比較を通して理解を深める。同時に初歩的な韓国語文法、会話を学び、韓国という国についての理解をさらに深める。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
教科書指定なし(毎回資料を配布する)			
参考書等			
現代韓国を知るための60章【第2版】 石坂浩一、福島みのり 編著 明石書店 2014			
成績評価方法・基準			
小テスト (50%、毎授業の最初に前回の内容を確認する)、課題 (30%)、授業参加度 (20%、授業中の発言・学習態度など)			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
小テスト・課題などについては、LMSを用いてフィードバックをするか、次回授業時に全体に対しフィードバックを行う。			
備考			

29	韓国の文化と言葉	FGE-CCS-662	選択 2単位 3年後期
	Culture and Language of South Korea		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	ガイダンス	シラバスの通読	2
第2回	韓国文化と韓国語 概論	日本にある韓国由来のものを調べる	2
第3回	●韓国語の基礎① 挨拶 ●韓国と日本の比較 文化・習慣全般	韓国(語)と日本(語)の違いと共通点を再確認する	2
第4回	●韓国語の基礎①-2 文字 ●韓国と日本の比較 政治	韓国文化の世界的評価を調べる	2
第5回	●韓国語の基礎①-3 文字と発音 ●韓国と日本の比較 歴史	韓国文化・習慣と挨拶について復習する	2
第6回	●韓国語の基礎①-4 文字と発音 ●韓国と日本の交流の歴史	日本と韓国の現在の政治形態を確認する	2
第7回	韓国語の基礎①-5 韓国語で書き、話す(挨拶)	韓国語の文字について再確認する	2
第8回	●韓国語の基礎②-1 文の基本的構成 ●韓国と日本の比較 地理	日本と韓国の歴史について調べる	2
第9回	●韓国語の基礎②-2 子音 ●韓国と日本の比較 食	韓国語の文字と発音について再確認する	2
第10回	●韓国語の基礎②-3 母音 ●韓国と日本の比較 住居	韓国と日本の交流の歴史について調べる	2
第11回	●韓国語の基礎②-4 バッチム ●韓国と日本の比較 教育	韓国語の文字と発音について再確認する	2
第12回	●韓国語の基礎②-5 発音法則 ●韓国の音楽文化	ここまで学んだ韓国語の基礎を総復習	2
第13回	●韓国語の基礎②-6 数え方(漢数字) ●韓国の映像文化 概説	韓国語の発音について、総復習	2
第14回	●韓国語の基礎②-7 数え方(固有数字) ●韓国の映像文化 韓国語を聞く	韓国語の発音法則について再確認する	2
		韓国の映像文化について調べる	2
		韓国語の数え方について総復習	2
		韓国語の発音について総復習	2
		授業で学んだ韓国の映像文化について復習	2

30	中国の文化と言葉	FGE-CCS-663	選択 2単位 3年後期
	Culture and Language of China		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○	単独(1人が全回担当)	教職科目 (工業)	 
	複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)	教職科目 (情報)	
	オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)	教職科目 (商業)	
	クラス分け(クラス分けで担当する)	地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
1クラス 服部 徐麗			
授業の達成目標			
世界の多様な社会・言語についての基礎的な知識を身につけ、異文化に対する関心を深める。			
授業の概要			
中国の歴史・文化・社会について、日本との比較を通して理解を深める。同時に初歩的な中国語文法、会話を学び中国という国についての理解をさらに深める。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
ビジュアル中国 衛榕群 汪晓京 朝日出版社 2015			
参考書等			
成績評価方法・基準			
すべての練習問題の記入(平常20点)及び期末試験(80点)を総合して判断する。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
課題については、授業時に全体に対しフィードバックを行う。			
備考			

30	中国の文化と言葉	FGE-CCS-663	選択 2単位 3年後期
	Culture and Language of China		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	ガイダンス及び中国語の発音 (一)	シラバスの通読・教科書に沿って学習内容確認後、発音 (一) を学習、練習問題記入する ガイダンス内容の復習、発音 (一) 復習する	
第2回	中国の社会と日本社会の概況比較及び発音 (二)	近代史における中国と日本の変化について調べ、発音 (二) を学習し、練習問題記入する。 発音 (二) を復習する	
第3回	●宗教による日中文化への影響について ●発音 (三)	仏教伝来を軸に、両国の文化への影響を調べ、発音 (三) を学習、練習問題記入する。 発音 (三) を復習する	
第4回	●中国と日本の政治形態について ●発音 (四) ●第1課 開学第一天	両国の政治形態について確認し、発音 (四) を学習し、練習問題を記入する。第1課を学習し、練習問題を記入する。 第1課を復習する	
第5回	●日中比較 教育 ●第2課 中华民族园	両国の教育現況について調べ、発音を復習する。第2課を学習し、練習問題を記入する 第2課を復習する	
第6回	●日中比較 民族構成 ●第3課 傣族新年	両国の民族構成について調べ、第3課を学習し、練習問題を記入する 第3課を復習する	
第7回	●日中比較 礼儀作法 ●第5課 新家	両国の礼儀作法について調べ、第5課を学習し、練習問題を記入する 第5課を復習する	
第8回	●これまでの各テーマを復習する ●発音から第5課迄復習する	これまでの各テーマを復習する 発音から第5課迄復習する	
第9回	●中国の秦朝及び当時の日本について ●第6課 兵馬俑	中国の秦王朝及び同時代の日本について調べ、第6課 を学習し、練習問題を記入する 第6課を復習する	
第10回	●日中比較 造園技術 ●第10課 蘇州園林	両国の造園技術について調べ、第10課を学習し、練習問題を記入する 第10課を復習する	
第11回	●日中比較 祭壇 ●第11課 天壇	両国の祭壇について調べ、第11課を学習し、練習問題を記入する 第11課を復習する	
第12回	●日中比較 武道 ●第12課 少林寺	両国の武道について調べ、第12課を学習し、練習問題を記入する 第12課を復習する	
第13回	●日中比較 冠婚葬祭 ●総復習	両国の冠婚葬祭について情報確認。 第1回からの内容を復習する	
第14回	期末試験	筆記部分 朗読、暗記で発表する部分	

31	スタディスキル I	FGE-LE-111	必修 1単位 1 年前期
	Study skills I		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
単独(1人が全回担当)		教職科目 (工業)	
複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)		教職科目 (情報)	
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)		教職科目 (商業)	
○クラス分け(クラス分けで担当する)		地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
担当学科・組未定 高橋 秀太郎			
授業の達成目標			
大学在学中、並びに社会人となってから必要となるスタディスキル(学修能力)、特に日本語能力、生活管理力の基礎を身につけることを達成目標とする。			
授業の概要			
工大で学び、社会に出るための準備として「日本語力」、「大学生活管理能力」を身に付ける。そのために、以下の2つのことを学び、実践する。Ⅰ 「正しく分かりやすい日本語表現」をするために必要な「文章添削・文章構成・敬語」の基礎を学ぶ。Ⅱ 大学生活を記録・管理する。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
『大学生のための日本語表現実践ノート 改訂版』風間書房「CAMPUS LIFE」			
参考書等			
成績評価方法・基準			
提出課題 2 つ (20 点× 2) と「テスト」(30 点)、小テスト 3 回 (合計 30 点) により評価する。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
課題については、返却時に全体に対しフィードバックを行う。			
備考			

31	スタディスキル I	FGE-LE-111	必修 1単位 1 年前期
	Study skills I		
授業計画 (各回の学習内容等)			
学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)	
第 1 回	●ガイダンス ●ノートテイキングの基本を学ぶ●「大学生活管理能力を身に付ける」説明 (1 年間実践)	(予習) シラバス通読する。	0.5
		(復習) 大学生活管理方法の再確認・実践	0.5
第 2 回	「添削力を身につける」①文章添削ポイント説明/「話し言葉」/漢字の添削練習 ●確認テスト	(予習) テキスト課題	0.5
		(復習) 文章添削ポイントの再確認	0.5
第 3 回	「添削力を身につける」②「助詞」「文」の添削練習●確認テスト	(予習) テキスト課題	0.5
		(復習) プリントの再確認	0.5
第 4 回	「添削力を身につける」③「文」の添削練習●4 月分集計と自己分析・目標設定 ●確認テスト	(予習) テキスト課題	0.5
		(復習) 集計と自己分析 (「CAMPUS LIFE」)	0.5
第 5 回	「添削力を身につける」④「文・文章」の添削練習●「提出課題文」の説明と作成 ●第 1	(予習) 小テスト勉強	0.5
		(復習) 「提出課題文」作成	0.5
第 6 回	「分析・考察力を身につける」①「レポートの書き方」「表・グラフ作成」の基本を学ぶ ●確	(予習) テキスト課題	0.5
		(復習) 「レポートの書き方」「表・グラフ作成の基本」再確認	0.5
第 7 回	「分析・考察力を身につける」②分析練習/ICT を利用した情報収集の基本と注意点 ●確認テスト	(予習) テキスト課題	0.5
		(復習) 「ICT を利用した情報収集の基本と注意点」の再確認	0.5
第 8 回	「分析・考察力を身につける」③分析・考察練習●5 月分の集計と自己分析 ●確認テスト	(予習) テキスト課題	0.5
		(復習) 集計と自己分析 (「CAMPUS LIFE」)	0.5
第 9 回	「分析・考察力を身につける」④考察練習 (5 W 2 H) ●第 2 回小テスト	(予習) 小テスト勉強	0.5
		(復習) 「考察練習」内容の再確認	0.5
第 10 回	「分析・考察力を身につける」⑤「分析・考察テスト」	(予習) 「分析・考察テスト」勉強	0.5
		(復習) 「分析・考察テスト」内容の再確認	0.5
第 11 回	「分析・考察力を身につける」⑥総復習/「敬語力を身につける」①基本の再確認 ●6 月	(予習) テキスト課題	0.5
		(復習) 集計と自己分析 (「CAMPUS LIFE」)	0.5
第 12 回	「敬語力を身につける」②応用・説明練習/「構成力を身につける」①「自己 PR 文」説明と下書き	(予習) テキスト課題	0.5
		(復習) 敬語の基本・応用の再確認	0.5
第 13 回	「構成力を身につける」②「自己 PR 文」作成●第 3 回小テスト	(予習) 小テスト勉強	0.5
		(復習) 「自己 PR 文」作成	0.5
第 14 回	●4 ~ 7 月の集計と自己分析 (「CAMPUS LIFE」)・目標設定●まとめ	(予習) 集計と自己分析 (「CAMPUS LIFE」)	0.5
		(復習) 前期の講義内容の再確認	0.5


32	スタディスキル II	FGE-LE-212	必修 1単位 1年後期
	Study skills II		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
単独(1人が全回担当)		教職科目 (工業)	
複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)		教職科目 (情報)	
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)		教職科目 (商業)	
○クラス分け(クラス分けで担当する)		地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
担当学科・組未定 高橋 秀太郎			
授業の達成目標			
<p>大学在学中、並びに社会人となってから必要となるスタディスキル (学修能力)、特に日本語能力、生活管理力の基礎を身につけること、身に付けた力を実際に使えるようになることを達成目標とする。</p>			
授業の概要			
<p>本講義では、「日本語力」と「大学生活管理能力」をさらに磨く。そのために、以下の2つのことを学び、実践する。Ⅰ 新聞記事を材料に、語彙力・読解力・要旨作成力を高める。Ⅱ 大学生活を記録・管理し、それをもとに「自己紹介書」を作成する。</p>			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
新聞ダイジェスト 2021 9月増刊号『最新 時事用語&問題』(新聞ダイジェスト社)「CAMPUS LIFE」			
参考書等			
成績評価方法・基準			
<p>小テスト(4点×8回=32点)、「中間テスト」「期末テスト」(各25点 計50点)、「ノート」提出(2回×4点=8点)、「自己紹介書」(10点)の合計点で評価する。</p>			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
<p>課題等については、授業時に、全体に対しフィードバックを行う。</p>			
備考			

32	スタディスキル II	FGE-LE-212	必修 1単位 1年後期
	Study skills II		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	●ガイダンス ●「要旨作成力を身につける」①説明・練習 ●小テスト練習	(予習) シラバスの確認 (復習) ガイダンス内容の再確認	0.5 0.5
第2回	●第1回小テスト「要旨作成力を身につける」② テーマ「災害」	(予習) 第1回小テストの勉強 (復習) 自身の作成した要旨(「災害」)の再確認	0.5 0.5
第3回	●第2回小テスト「要旨作成力を身につける」③ テーマ「医療」	(予習) 第2回小テストの勉強 (復習) 自身の作成した要旨(「医療」)の再確認	0.5 0.5
第4回	●第3回小テスト「要旨作成力を身につける」④ テーマ「国際問題」	(予習) 第3回小テストの勉強 (復習) 自身の作成した要旨(「国際問題」)の再確認	0.5 0.5
第5回	●第4回小テスト「要旨作成力を身につける」⑤ テーマ「環境問題」	(予習) 第4回小テストの勉強 (復習) 自身の作成した要旨(「環境問題」)の再確認	0.5 0.5
第6回	「中間テスト」	(予習) 「中間テスト」の勉強 (復習) 「中間テスト」内容の再確認	0.5 0.5
第7回	●プレゼン資料作成練習●8~10月分の集計と分析	(予習) 「CAMPUS LIFE」確認 (復習) プレゼン資料作成方法の再確認	0.5 0.5
第8回	●第5回小テスト「要旨作成力を身につける」⑥ テーマ「インターネット」	(予習) 第5回小テストの勉強 (復習) 自身の作成した要旨(「インターネット」)の再確認	0.5 0.5
第9回	●第6回小テスト「要旨作成力を身につける」⑦ テーマ「就活」	(予習) 第6回小テストの勉強 (復習) 自身の作成した要旨(「就活」)の再確認	0.5 0.5
第10回	●第7回小テスト「要旨作成力を身につける」⑧ テーマ「科学技術」	(予習) 第7回小テストの勉強 (復習) 自身の作成した要旨(「科学技術」)の再確認	0.5 0.5
第11回	●第8回小テスト「要旨作成力を身につける」⑨ テーマ「ジェンダー」	(予習) 第8回小テストの勉強 (復習) 自身の作成した要旨(「ジェンダー」)の再確認	0.5 0.5
第12回	「期末テスト」	(予習) 「期末テスト」勉強 (復習) 「期末テスト」の内容の再確認	0.5 0.5
第13回	「自己紹介書を作成する」説明・作成	(予習) 集計と自己分析(「CAMPUS LIFE」) (復習) 返却された「期末テスト」の復習	0.5 0.5
第14回	●8~1月の集計と自己分析(「CAMPUS LIFE」)・目標設定 ●まとめ	(予習) 集計と自己分析(「CAMPUS LIFE」) (復習) 後期の講義内容の再確認	0.5 0.5

33	プレゼンテーション	LGE-LE-313	選択※ MC 学科のみ必修 1単位 2年前期
	Presentation		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
単独(1人が全回担当)		教職科目 (工業)	4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 8 豊かになりながら持続可能な成長を目指そう 9 産業とイノベーションに力をまとめよう 10 人や国を問わずに豊かになる
複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)		教職科目 (情報)	12 持続可能な消費と生産 17 パートナーシップで目標を達成しよう
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)		教職科目 (商業)	
○クラス分け(クラス分けで担当する)		地域志向科目	
		○実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学2年全組 伊藤 光弘			
授業の達成目標			
[1] コミュニケーション、プレゼンテーションに必要な思考能力を実践的に培う。 [2] 自分の持つコミュニケーション能力を高める。 [3] 今までより以上にプレゼンテーション能力を高める。			
授業の概要			
人間のコミュニケーション機能は本来自然に備わっているはずなのに、対人関係においてコミュニケーションを苦手とする人間は学生にも社会人にも非常に多い。本講義では多くの現代日本人が抱える、コミュニケーションへの苦手意識克服に理論的かつ適切な解を与えつつも、思考訓練と表現のツールである「図解」を用いて、将来ばかりか人生に必要なとされるコミュニケーション、プレゼンテーション能力をグループワークも取り入れながら訓練、開発していく。			
実務経験を活かした教育について			
電通東日本東北で企業を相手にしたプレゼンを行ってきた経験を指導に活かす。			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
特に指定はないが、講義の進行上また、受講生の理解度、進度により必要と判断できる資料、書籍などは随時講義内にて紹介する。(購入の有無、参照するしないは受講生の任意による。必須とはしない)			
参考書等			
成績評価方法・基準			
授業終了時に提出するレポート(40%)、プレゼンテーション大会の審査結果(50%)試験又はレポート(10%)の合計による。課題レポートについては、翌授業時に、全体に対しフィードバックする。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
WebClassを使った課題提出ごとにフィードバックする。			
備考			

33	プレゼンテーション	LGE-LE-313	選択※ MC 学科のみ必修 1単位 2年前期
	Presentation		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	オリエンテーション「なぜ苦手なのか」(講義 15 回の全体概要解説、受講生の現状自己認識)	(予習) シラバス通読の上、準備学習を行う。 (復習) オリエンテーション内容の復習をする。	0.5 0.5
第2回	自分本位に図解しよう(図解コミュニケーション理論概要と実践)	(予習) 講義内で触れた図解秘法に従って次週までに図解を描く。 (復習) テキストを熟読する。	0.5 0.5
第3回	自分を誰かに説明してみよう(図解コミュニケーション実技、理論解説)	(予習) 描いてきた図解をブラッシュアップする。 (復習) アドバイス&メッセージシートを良く読む。	0.5 0.5
第4回	自分の歴史を発掘しよう(図解による自己分析、理論解説)	(予習) 自己紹介の図解を次週までに作ってくる。 (復習) テキストの反復	0.5 0.5
第5回	自分プレゼンテーション(図解プレゼンテーション実技、相互評価)	(予習) 任意の社会課題の図解を作成する。 (復習) アドバイス&メッセージシートをよく読んでくる。	0.5 0.5
第6回	社会の仕組みを理解しよう(課題図解)	(予習) 解決策を考案し図解してくる。 (復習) メッセージシートの内容をよく読んで、問題点を解決する。	0.5 0.5
第7回	社会の仕組みを図解しよう(図解修正および、理論解説)	(予習) 社会課題に対する解決策を短い時間でプレゼンする準備。 (復習) 事前準備に抜かりがないか確認しておく。	0.5 0.5
第8回	社会の仕組みをいじってみよう(自分の企画を形にする)	(予習) 社会課題に対する解決策を短い時間でプレゼンする準備。 (復習) 事前準備に抜かりがないか確認しておく。	0.5 0.5
第9回	社会の仕組みを変えてみよう(課題図解および、発表)	(予習) 社会課題に対する解決策を短い時間でプレゼンする準備 (復習) 事前準備に抜かりがないか確認しておく。	0.5 0.5
第10回	社会の仕組みを見せ合おう(グループプレゼンテーション、相互評価)	(予習) チームの役割分担を決め、連絡する。 (復習) チームプレゼン課題をよく把握しておく。	0.5 0.5
第11回	チームで企画を作ってみよう(課題発表、チーム構築、チームワーク解説)	(予習) 具体的なチームワークを次の講義までに数回実施する。 (復習) 問題点の洗い出し。	0.5 0.5
第12回	チームで企画を練りあげてみよう(チームディスカッション、および発表実技)	(予習) 具体的なチームワークを次の講義までに数回実施する。 (復習) 問題点の洗い出し。	0.5 0.5
第13回	チームの企画を検証してみよう(チームプレゼンテーション事前準備)	(予習) 具体的なチームワークを次の講義までに数回実施する。 (復習) 問題点の洗い出し。	0.5 0.5
第14回	チームの企画を表現しよう(チームプレゼンテーション大会) / 講義総括、まとめ	(予習) 表現する対象者を事前に研究しておく。 (復習) 対象者からの講評で事前の対策を自己評価する。	0.5 0.5

教養

34	ビジネスマナー	LGE-LE-514	選択※ MC 学科のみ必修 1単位 3年前期
	Business Manners		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
<input type="radio"/>	単独(1人が全回担当)	教職科目 (工業)	
<input type="radio"/>	複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)	教職科目 (情報)	
<input type="radio"/>	オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)	教職科目 (商業)	
<input type="radio"/>	クラス分け(クラス分けで担当する)	地域志向科目	
<input type="radio"/>		<input type="radio"/> 実務経験のある教員担当 アクティブラーニング メディア授業	
クラス・担当教員			
全学科3年全組 浅野 純子			
授業の達成目標			
人間力を磨き、社会で活躍するための基礎を学習します。社会人として活躍する上で重要な基本マナーやコミュニケーション力、考え方などを身につけます。ビジネスマナーと並行し、将来を決める就職活動の必勝法も学びます。自分の能力を活かし、将来安定した人生を送るために必要な基礎知識を実践的な授業で習得します。			
授業の概要			
自分自身を見つめ、社会性をもつ人間としての基本を学ぶ。また、仕事への取り組み方やより良い人間関係など、社会人として生きる上で大切な事を学習する。			
実務経験を活かした教育について			
担当講師は、企業での秘書業務や各種企業・団体での講演と研修講師を数多く歴任した長年にわたる指導実績を基に講義に取り入れている。			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
資料プリントの配布あり 役立つビジネスマナー 浅野 純子			
参考書等			
成績評価方法・基準			
ビジネスマナーの試験問題 70%(100%可)・面接実践 30%			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
試験の評価等については授業時に全体に対しフィードバックを行う。			
備考			

教養

34	ビジネスマナー	LGE-LE-514	選択※ MC 学科のみ必修 1単位 3年前期
	Business Manners		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	能力を出すコツ・健康管理・正しい姿勢・重心・立ち方 お辞儀・挨拶・立ち居振る舞い・歩き方・名刺交換	挨拶・立ち居振る舞いに大切なポイントを考え実践 お辞儀・挨拶・歩き方など学んだことを体得する	0.5 0.5
第2回	笑顔・目力・滑舌・成功するための7つの習慣・身だしなみ・リクルートスーツ・カラーと洋服のマナー	自分のイメージアップに必要な事と持ち物リスト作成 目力・笑顔・滑舌・成功のための7つの習慣を体得する	0.5 0.5
第3回	自分に似合う色の見つけ方・言葉遣いの習得による効果 ・敬語・職場用語・ビジネス会話	自分の話し方や言葉遣いのクセを書き出す 敬語・職場用語・接遇用語を繰り返し音読し習得する	0.5 0.5
第4回	間違いやすい言葉遣い・言葉の使い方・クッション言葉 接遇用語とご案内・接遇での正しい敬語表現	敬語の資料を繰り返し音読をする 正しい言葉遣い・クッション言葉・接遇用語を音読	0.5 0.5
第5回	電話の特性・電話対応の基本・求人応募時の電話対応・ 電話の基本対応とケース別対応・ロールプレイング	笑顔で話す習慣・敬語と正しい言葉遣いの習得 電話対応の基本・ケース別対応の資料を音読	0.5 0.5
第6回	就職活動必勝法・面接合格ポイント・基本の挨拶の習得 ・シーン別挨拶言葉の習得・面接質問例の答え方	自分の強み・自分が好きな事・関心がある事の分析 笑顔でハキハキと自分の考えを分かりやすく話す練習	0.5 0.5
第7回	就職率が高い秘訣・コミュニケーション成功のポイント ・面接の流れ・面接の実践練習・履歴書の準備	面接質問に答えられるよう自己分析をし準備 面接での答え方を練習し自信をつける	0.5 0.5
第8回	東北工業大学の履歴書・履歴書の書き方・書類選考合格 の秘訣・面接実践練習・合格への道	履歴書を作成できるように準備をする 書類選考で通る履歴書を完成させる	0.5 0.5
第9回	想定外の質問への対応・価値観・会社選びの優先順位・ 自己ライフサイクルシート・ブラック企業の見極め	一番大切だと思う事・仕事選びの優先順位を書 自分の人生の計画・価値観・仕事選びをまとめる	0.5 0.5
第10回	ビジネスマナー問題・ビジネスマナー問題の解答・解説 ビジネスマナーポイント・試験の目的と説明	自分が習慣にしたいマナー・改善したいマナーを書く ビジネスマナーのポイントをしっかり覚える	0.5 0.5
第11回	人間力・社会人の心構えとプロ意識・職場のマナー・報 告連絡相談の仕方・会社の役職と組織・役割	普段から連絡や報告を習慣にする 社会人としての心構えやマナーを習慣にし身につける	0.5 0.5
第12回	選択と決断力・クレーム対応と実例・ビジネス文書・添 え状とお礼状・メールの書き方・敬称・押印・呼称	決断と実行を早くする実践を行う 添え状とお礼状の下書きを書く	0.5 0.5
第13回	心のマネジメント・魅力的なパーソナリティ・より良い 人間関係を築くために・席次・訪問・お茶の接遇	人間関係を良くするために実践していることを書く 心のマネジメントと魅力的なパーソナリティの音読習慣	0.5 0.5
第14回	評価方法の説明・ビジネスでの査定・冠婚葬祭のマナー ・食事のマナー・乾杯とお祝いの挨拶・万歳と締め	冠婚葬祭や食事のマナーについて不明な点を書き出す 冠婚葬祭・食事のマナーなどについて習得をする	0.5 0.5

教養

35	英語 I A	FGE-LE-131	必修 1単位 1 年前期
	English I A		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
単独(1人が全回担当)		教職科目 (工業)	
複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)		教職科目 (情報)	
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)		教職科目 (商業)	
○クラス分け(クラス分けで担当する)		地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学部全学科全クラス (クラス数は学部・学科でそれぞれ異なる) 高橋 哲徳 鈴木 淳 設楽 宏二 柴田 尚子 星 かおり 徳永 慎也 八幡 尚子			
授業の達成目標			
1. 品詞、文の種類、文型、時制などの基礎的な英文法を理解できる。2. 基礎的英文法の理解に基づいて、speaking、listening、writing、reading の四分野において、日常的場面でのコミュニケーションを行うことができる。			
授業の概要			
speaking、listening、writing、reading の四分野に関わる総合的英語学習を行うが、特に、英文法の基本的事項に関する理解に基づいて情報の送受信を行うための基礎を学ぶ。取り上げる文法項目は、品詞、文の種類、五文型、時制である。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
教科書・参考書については授業開始時、もしくは適宜必要に応じて指示する。			
参考書等			
成績評価方法・基準			
成績は定期試験によって評価する。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
課題については、授業時に、全員にフィードバックする。			
備考			

教養

35	英語 I A	FGE-LE-131	必修 1単位 1 年前期
	English I A		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	ガイダンス (授業内容、計画、教材、学習方法、成績評価法など)	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。 (復習) 教科書に目を通し、今後の学習内容、方法を確認する。	0.5 0.5
第2回	英文の基本構成と文の種類：解説	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。 (復習) 英文の基本構成と文の種類に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5 0.5
第3回	英文の基本構成と文の種類：演習問題	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。 (復習) 演習問題に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5 0.5
第4回	品詞の種類と用法：解説	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。 (復習) 品詞に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5 0.5
第5回	品詞の種類と用法：演習問題	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。 (復習) 演習問題に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5 0.5
第6回	文型 (第1-3文型)：解説	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。 (復習) 第1-3文型に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5 0.5
第7回	文型 (第1-3文型)：演習問題	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。 (復習) 演習問題に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5 0.5
第8回	文型 (第4-5文型、その他の文型)：解説	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。 (復習) 第4-5文型等に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5 0.5
第9回	文型 (第4-5文型、その他の文型)：演習問題	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。 (復習) 演習問題に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5 0.5
第10回	時制 (現在、過去、未来時制の諸用法)：解説	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。 (復習) 現在、過去、未来時制に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5 0.5
第11回	時制 (現在、過去、未来時制の諸用法)：演習問題	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。 (復習) 演習問題に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5 0.5
第12回	時制 (進行形、完了形の諸用法)：解説	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。 (復習) 進行形、完了形に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5 0.5
第13回	時制 (進行形、完了形の諸用法)：演習問題	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。 (復習) 演習問題に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5 0.5
第14回	前期学習内容のまとめと確認	(予習) これまでの学習内容を再確認する。 (復習) 前期の学習内容に関して不確実な部分を再確認する。	0.5 0.5


36	英語 I B	FGE-LE-232	必修 1単位 1年後期
	English I B		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
単独(1人が全回担当)		教職科目 (工業)	
複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)		教職科目 (情報)	
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)		教職科目 (商業)	
○クラス分け(クラス分けで担当する)		地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学部全学科全クラス (クラス数は学部・学科でそれぞれ異なる) 高橋 哲徳 鈴木 淳 設楽 宏二 柴田 尚子 徳永 慎也 八幡 尚子			
授業の達成目標			
1. 主語と動詞の一致、助動詞、前置詞、接続詞、比較などのより複雑な英文の理解に必要な文法項目を理解できる。2. 上の文法項目の理解に基づいて、speaking、listening、writing、reading の四分野において、日常的場面でのコミュニケーションを行うことができる。			
授業の概要			
speaking、listening、writing、reading の四分野に関わる総合的英語学習を行うが、特に、英文法の基本的事項に関する理解に基づいて、長文読解のための基礎を学ぶ。取り上げる文法項目は、主語と動詞の一致、助動詞、前置詞、接続詞、比較である。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
教科書・参考書については授業開始時、もしくは適宜必要に応じて指示する。			
参考書等			
成績評価方法・基準			
成績は定期試験によって評価する。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
課題については、授業時に、全員にフィードバックする。			
備考			

36	英語 I B	FGE-LE-232	必修 1単位 1年後期
	English I B		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	ガイダンス (授業内容、計画、教材、学習方法、成績評価法など)	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。 (復習) 教科書に目を通し、今後の学習内容、方法を確認する。	0.5 0.5
第2回	英文の形式と特徴：解説	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。 (復習) 英文の形式と特徴に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5 0.5
第3回	英文の形式と特徴：演習問題	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。 (復習) 演習問題に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5 0.5
第4回	主語と動詞の一致：解説	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。 (復習) 主語と動詞の一致に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5 0.5
第5回	主語と動詞の一致：演習問題	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。 (復習) 演習問題に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5 0.5
第6回	前置詞の諸用法：解説	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。 (復習) 前置詞の諸用法に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5 0.5
第7回	前置詞の諸用法：演習問題	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。 (復習) 演習問題に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5 0.5
第8回	接続詞の諸用法：解説	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。 (復習) 接続詞の諸用法に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5 0.5
第9回	接続詞の諸用法：演習問題	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。 (復習) 演習問題に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5 0.5
第10回	比較の表現：解説	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。 (復習) 比較の表現に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5 0.5
第11回	比較の表現：演習問題	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。 (復習) 演習問題に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5 0.5
第12回	助動詞の諸用法：解説	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。 (復習) 助動詞の諸用法に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5 0.5
第13回	助動詞の諸用法：演習問題	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。 (復習) 演習問題に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5 0.5
第14回	後期学習内容のまとめと確認	(予習) これまでの学習内容を再確認する。 (復習) 後期の学習内容に関して不確実な部分を確認する。	0.5 0.5

37	英語 II A	FGE-LE-333	選択※C学科のみ必修 1単位 2年前期
	English II A		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
	単独(1人が全回担当)	教職科目 (工業)	
	複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)	教職科目 (情報)	
	オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)	教職科目 (商業)	
○	クラス分け(クラス分けで担当する)	地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学部全学科全クラス (クラス数は学部・学科でそれぞれ異なる) 漆原 幸子 柴田 尚子 星 かおり 徳永 慎也			
授業の達成目標			
1. 品詞、文型、時制、受動態、関係詞などの基礎的な英文法を理解できる。2. 英語圏の文化や社会、あるいはビジネスの現場で用いられる TOEIC レベルの英文メール、手紙、広告などの、基本的、実践的内容の英文を理解できる。			
授業の概要			
speaking、listening、writing、reading の四分野に関わる総合的英語学習を行うが、特に、英文法の基本的事項に関する理解に基づき、TOEIC レベルの英文に対応するための基礎を学ぶ。取り上げる文法項目は、品詞、文型、時制、受動態、関係詞である。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
教科書・参考書については授業開始時、もしくは適宜必要に応じて指示する。			
参考書等			
成績評価方法・基準			
成績は定期試験によって評価する。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
課題については、授業時に、全員にフィードバックする。			
備考			

37	英語 II A	FGE-LE-333	選択※C学科のみ必修 1単位 2年前期
	English II A		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	ガイダンス (授業内容、計画、教材、学習方法、成績評価法など)	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。	0.5
第2回	TOEIC の出題形式と特徴：解説	(復習) 教科書に目を通し、今後の学習内容、方法を確認する。	0.5
第3回	TOEIC の出題形式と特徴：模擬試験演習	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。	0.5
第4回	文型の理解と品詞の判別：解説	(復習) TOEIC の出題形式と特徴に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5
第5回	文型の理解と品詞の判別：演習問題	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。	0.5
第6回	可算名詞と不可算名詞：解説	(復習) 演習問題に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5
第7回	可算名詞と不可算名詞：演習問題	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。	0.5
第8回	動詞の変化と時制：解説	(復習) 演習問題に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5
第9回	動詞の変化と時制：演習問題	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。	0.5
第10回	受動態の諸用法：解説	(復習) 演習問題に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5
第11回	受動態の諸用法：演習問題	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。	0.5
第12回	関係詞の諸用法：解説	(復習) 演習問題に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5
第13回	関係詞の諸用法：演習問題	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。	0.5
第14回	前期学習内容のまとめと確認	(復習) 関係詞の諸用法に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5
		(予習) これまでの学習内容を再確認する。	0.5
		(復習) 前期の学習内容に関して不確実な部分を再確認する。	0.5

教養

38	英語 II B	FGE-LE-434	選択※C学科のみ必修 1単位 2年後期
	English II B		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
単独(1人が全回担当)		教職科目 (工業)	
複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)		教職科目 (情報)	
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)		教職科目 (商業)	
○クラス分け(クラス分けで担当する)		地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学部全学科全クラス (クラス数は学部・学科でそれぞれ異なる) 漆原 幸子 柴田 尚子 星 かおり 徳永 慎也			
授業の達成目標			
1. 分詞、不定詞、動名詞、仮定法などのより高度な英文法に関する知識を持つ。2. 英語圏の文化や社会、あるいはビジネスの現場において用いられる TOEIC レベルの社内通知、表、アンケートなどを含む様々なフォームの英文を理解できる。			
授業の概要			
speaking listening writing reading の四分野に関わる総合的英語学習を行うが、特に、英文法の基本的事項に関する理解に基づいて、TOEIC レベルの英文に対応するための基礎を学ぶ。取り上げる文法項目は、分詞、不定詞、動名詞、仮定法である。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
教科書・参考書については授業開始時、もしくは適宜必要に応じて指示する。			
参考書等			
成績評価方法・基準			
成績は定期試験によって評価する。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
課題については、授業時に、全員にフィードバックする。			
備考			

教養

38	英語 II B	FGE-LE-434	選択※C学科のみ必修 1単位 2年後期
	English II B		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	ガイダンス (授業内容、計画、教材、学習方法、成績評価法など)	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。	0.5
第2回	TOEIC の長文問題の形式と特徴：解説	(復習) 教科書に目を通し、今後の学習内容、方法を確認する。	0.5
第3回	TOEIC の長文問題の形式と特徴：模擬試験演習	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。	0.5
第4回	現在分詞の諸用法：解説	(復習) TOEIC の長文問題の形式と特徴に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5
第5回	現在分詞の諸用法：演習問題	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。	0.5
第6回	過去分詞の諸用法：解説	(復習) 演習問題に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5
第7回	過去分詞の諸用法：演習問題	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。	0.5
第8回	to 不定詞の諸用法：解説	(復習) 演習問題に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5
第9回	to 不定詞の諸用法：演習問題	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。	0.5
第10回	動名詞の諸用法：解説	(復習) to 不定詞の諸用法に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5
第11回	動名詞の諸用法：演習問題	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。	0.5
第12回	仮定法の表現：解説	(復習) 演習問題に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5
第13回	仮定法の表現：演習問題	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。	0.5
第14回	後期学習内容のまとめと確認	(復習) 演習問題に関してノート等を用いて不確実な部分を再確認する。	0.5
		(予習) これまでの学習内容を再確認する。	0.5
		(復習) 後期の学習内容に関して不確実な部分を確認する。	0.5

39	英会話 I	FGE-LE-141	選択 1単位 1年前期
	English Conversation I		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
単独(1人が全回担当)		教職科目 (工業)	
複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)		教職科目 (情報)	
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)		教職科目 (商業)	
○クラス分け(クラス分けで担当する)		地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学部・全学科・全クラス ディエゴ ダードン ダレン キンズマン			
授業の達成目標			
The objective of this course is to provide students with a variety of opportunities to express themselves in English. Focus will be placed upon speaking & listening.			
授業の概要			
The course covers a variety of topics which will give students the opportunities to learn & share information about themes relevant to students' daily lives, including SDGs. In addition to the course textbook, the course is supplemented by a variety of interactive activities such as vocabulary & transcription exercises. These activities will help students to gain confidence in using the four skills of speaking, listening, reading & writing in English more spontaneously & creatively. Final presentations may be based on student interpretations of SDGs in their lives.			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
開拓社 無敵リスニング〈中級〉エイドリアン・リース、サイモン・クック			
参考書等			
成績評価方法・基準			
Students will be evaluated through both continual assessment, an end of semester speaking test and presentation.			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
Comments regarding both excellent examples and common errors in English produced in students' work will be made at the start of each class.			
備考			

39	英会話 I	FGE-LE-141	選択 1単位 1年前期
	English Conversation I		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	Course introduction & orientation. Stage 1-1 of textbook.	Purchase of textbook and preparation for first class Course guidance & conversation warm-up exercises - The importance of creating a collaborative environment.	0.5 0.5
第2回	Stage 1-2 of textbook. Vocabulary test. Learning conversation skills - general interaction.	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class. Vocabulary test. Speaking and listening activities based on the topic	0.5 0.5
第3回	Stage 1-3 of textbook. Vocabulary test. Transcription activity. Presentation practice #1	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class. Vocabulary test & listening activities based on the topic - Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics. Presentation practice #1	0.5 0.5
第4回	Stage 1-4 of textbook. Vocabulary test. Learning conversation skills - keeping the conversation	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class. Vocabulary test & listening activities based on the topic - Collaborative dictogloss & group discussion activities. Practice of taught conversation skills.	0.5 0.5
第5回	Stage 1-5 of textbook. Vocabulary test. Transcription activity. Presentation practice #2	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class. Vocabulary test & listening activities based on the topic - Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics. Presentation practice #2	0.5 0.5
第6回	Stage 2-1 of textbook. Vocabulary test. Learning conversation skills - asking questions.	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class. Vocabulary test & listening activities based on the topic - Collaborative dictogloss & group discussion activities. Practice of taught conversation skills.	0.5 0.5
第7回	Stage 2-2 of textbook. Vocabulary test. Transcription activity. Presentation practice #3	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class. Vocabulary test & listening activities based on the topic - Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics. Presentation practice #3	0.5 0.5
第8回	Stage 2-3 of textbook. Vocabulary test. Learning conversation skills - giving feedback.	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class. Vocabulary test & listening activities based on the topic - Collaborative dictogloss & group discussion activities. Practice of taught conversation skills.	0.5 0.5
第9回	Stage 2-4 of textbook. Transcription activity. Presentation practice #4	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class. Vocabulary test & listening activities based on the topic - Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics. Presentation practice #4	0.5 0.5
第10回	Stage 2-5 of textbook. Vocabulary test. Learning conversation skills - changing the topic.	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class. Vocabulary test & listening activities based on the topic - Collaborative dictogloss & group discussion activities. Practice of taught conversation skills.	0.5 0.5
第11回	Stage 3-1 of textbook. Vocabulary test. Transcription activity. Presentation practice #5	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class. Vocabulary test & listening activities based on the topic - Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics. Presentation practice #5	0.5 0.5
第12回	Stage 3-2 of textbook. Vocabulary test. Learning conversation skills - gestures & other non-verbal	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class. Vocabulary test & listening activities based on the topic - Collaborative dictogloss & group discussion activities. Practice of taught conversation skills. Presentation.	0.5 0.5

39	英会話 I	FGE-LE-141	選択 1単位 1年前期
	English Conversation I		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第 13 回	Stage 3-3 of textbook. Vocabulary test. Speaking test	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class.	0.5
		Vocabulary test & listening activities based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics.	0.5
第 14 回	End of semester review. Summary of materials covered during the semester.	Check of understanding of materials covered during the semester.	0.5
		Keeping up with English studies.	0.5

40	英会話 II	FGE-LE-242	選択 1単位 1年後期
	English Conversation II		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
単独(1人が全回担当)		教職科目 (工業)	
複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)		教職科目 (情報)	
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)		教職科目 (商業)	
○クラス分け(クラス分けで担当する)		地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学部・全学科・全クラス ダレン キンズマン ディエゴ ダードン			
授業の達成目標			
As with the first semester, the objective of this course is to provide students with a variety of opportunities to express themselves in English. Focus will be placed upon speaking & listening.			
授業の概要			
In addition to the course textbook, the course is supplemented by a variety of interactive activities such as vocabulary & transcription exercises and the use of TED talks and SDGs. These activities will help students to gain confidence in using the four skills of speaking, listening, reading & writing in English more spontaneously & creatively. Students will also learn presenting skills, vital for learning to express themselves & their ideas to a wider audience in English. As in the first semester, final presentations may be based on student interpretations of SDGs in their lives.			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
開拓社 無敵リスニング〈中級〉エイドリアン・リース、サイモン・クック			
参考書等			
成績評価方法・基準			
Students will be evaluated through both continual assessment, an end of semester test and a presentation.			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
Comments regarding both excellent examples and common errors in English produced in students' work will be made at the start of each class.			
備考			


40	英会話 II	FGE-LE-242	選択 1単位 1年後期
	English Conversation II		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	Course introduction & orientation. Stage 4-1 of textbook.	Purchase of textbook and preparation for first class	0.5
		Course guidance & conversation warm-up exercises・The importance of speaking English & creating a collaborative environment.	0.5
第2回	Stage 4-2 of textbook. Vocabulary test. TED Talks #1	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class.	0.5
		Vocabulary test & listening activity based on the topic・ Collaborative dictogloss & group discussion activities	0.5
第3回	Stage 4-3 of textbook. Vocabulary test. Transcription activity. TED talks #2. Presentation practice	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class.	0.5
		Vocabulary test & listening activity based on the topic・ Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics. Presentation practice.	0.5
第4回	Stage 4-4 of textbook. Vocabulary test. TED talks #3.	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class.	0.5
		Vocabulary test & listening activity based on the topic・ Collaborative dictogloss & group discussion activities	0.5
第5回	Stage 4-5 of textbook. Vocabulary test. Transcription activity. Presentation practice #2	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class.	0.5
		Vocabulary test & listening activity based on the topic・ Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics. Presentation practice.	0.5
第6回	Stage 5-1 of textbook. Vocabulary test. TED Talks #4	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class.	0.5
		Vocabulary test & listening activity based on the topic・ Collaborative dictogloss & group discussion activities	0.5
第7回	Stage 5-2 of textbook. Vocabulary test. Transcription activity. TED Talks #5. Presentation practice	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class.	0.5
		Vocabulary test & listening activity based on the topic・ Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics. Presentation practice.	0.5
第8回	Stage 5-3 of textbook. Vocabulary test. TED talks #6	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class.	0.5
		Vocabulary test & listening activity based on the topic・ Collaborative dictogloss & group discussion activities	0.5
第9回	Stage 5-4 of textbook. Transcription activity. TED Talks #7. Presentation practice #4	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class.	0.5
		Vocabulary test & listening activity based on the topic・ Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics. Presentation practice.	0.5
第10回	Stage 5-5 of textbook. Vocabulary test. TED talks #8	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class.	0.5
		Vocabulary test & listening activity based on the topic・ Collaborative dictogloss & group discussion activities. Reflection & discussion of viewed presentation. Presentation practice	0.5
第11回	Stage 6-1 of textbook. Vocabulary test. Transcription activity. Presentation practice #5.	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class.	0.5
		Vocabulary test & listening activity based on the topic・ Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics. Presentation practice.	0.5
第12回	Stage 6-2 of textbook. Vocabulary test. TED talks #9. Final Presentations.	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class.	0.5
		Vocabulary test & listening activity based on the topic・ Collaborative dictogloss & group discussion activities. Reflection & discussion of viewed presentation.	0.5

40	英会話 II	FGE-LE-242	選択 1単位 1年後期
	English Conversation II		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第 13 回	Vocabulary test. Speaking test.	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class.	0.5
		Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics.	0.5
第 14 回	End of semester review. Summary of materials covered during the semester.	Check of understanding of materials covered during the semester.	0.5
		Keeping up with English studies.	0.5

41	英会話 III	FGE-LE-343	選択 1単位 2 年前期
	English Conversation III		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○ 単独(1人が全回担当)		教職科目 (工業)	
複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)		教職科目 (情報)	
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)		教職科目 (商業)	
クラス分け(クラス分けで担当する)		地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		○ アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学部・全学科・全クラス ディエゴ・タードン			
授業の達成目標			
Students will learn the skills which will enable them to use English with confidence. Full participation in this class will reward the student with confidence in English to help them succeed in a world in which being able to use English is highly regarded. Students will be expected to work with other students in the class, creating a collaborative environment for all class attendees.			
授業の概要			
The course covers a variety of topics which will give students the opportunities to learn & share information about themes relevant to students' daily lives, including SDGs. In addition to the course textbook, the course is supplemented by a variety of interactive activities such as vocabulary & transcription exercises. These activities will help students to gain confidence in using the four skills of speaking, listening, reading & writing in English more spontaneously & creatively. Final presentations may be based on student interpretations of SDGs in their lives.			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
Pearson- English Firsthand (5th Edition) Level 2> Marc Helgesen, John Wiltshier, Steven Brown. Series Editor: Michael Rost			
参考書等			
成績評価方法・基準			
Students will be evaluated through both continual assessment, an end of semester speaking test and presentation.			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
Comments regarding both excellent examples and common errors in English produced in students' work will be made at the start of each class.			
備考			

41	英会話 III	FGE-LE-343	選択 1単位 2 年前期
	English Conversation III		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	Course introduction & orientation. Unit 0 of textbook.	Purchase of textbook and preparation for first class Course guidance & conversation warm-up exercises - The importance of creating a collaborative environment.	0.5 0.5
第2回	Unit 1 of textbook. Learning conversation skills - general interaction.	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class. Speaking and listening activities based on the textbook topic	0.5 0.5
第3回	Unit 1 of textbook. Vocabulary test. Transcription activity. Presentation practice #1	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class. Speaking & listening activities based on the textbook topic - Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics. Presentation practice #1	0.5 0.5
第4回	Unit 2 of textbook. Learning conversation skills - keeping the conversation going.	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class. Speaking & listening activities based on the topic - Collaborative dictogloss & group discussion activities. Practice of taught conversation skills.	0.5 0.5
第5回	Unit 2 of textbook. Transcription activity. Presentation practice #2	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class. Speaking & listening activities based on the textbook topic - Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics. Presentation practice #2	0.5 0.5
第6回	Unit 3 of textbook. Learning conversation skills - asking questions.	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class. Speaking & listening activities based on the textbook topic - Collaborative dictogloss & group discussion activities. Practice of taught conversation skills.	0.5 0.5
第7回	Unit 3 of textbook. Transcription activity. Presentation practice #3	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class. Speaking & listening activities based on the textbook topic - Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics. Presentation practice #3	0.5 0.5
第8回	Unit 4 of textbook. Learning conversation skills - giving feedback.	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class. Speaking & listening activities based on the textbook topic - Collaborative dictogloss & group discussion activities. Practice of taught conversation skills.	0.5 0.5
第9回	Unit 4 of textbook. Transcription activity. Presentation practice #4	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class. Speaking & listening activities based on the textbook topic - Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics. Presentation practice #4	0.5 0.5
第10回	Unit 5 of textbook. Learning conversation skills - changing the topic.	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class. Speaking & listening activities based on the textbook topic - Collaborative dictogloss & group discussion activities. Practice of taught conversation skills.	0.5 0.5
第11回	Unit 5 of textbook. Transcription activity. Presentation practice #5	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class. Speaking & listening activities based on the textbook topic - Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics. Presentation practice #5	0.5 0.5
第12回	Unit 6 of textbook. Learning conversation skills - gestures & other non-verbal communication. Presentation.	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class. Speaking & listening activities based on the textbook topic - Collaborative dictogloss & group discussion activities. Practice of taught conversation skills. Presentation.	0.5 0.5

41	英会話Ⅲ	FGE-LE-343	選択 1単位 2年前期
	English Conversation III		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第 13 回	Unit 6 of textbook. Vocabulary test. Speaking test	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class.	0.5
		Speaking & listening activities based on the textbook topic・ Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics.	0.5
第 14 回	End of semester review. Summary of materials covered during the semester.	Check of understanding of materials covered during the semester.	0.5
		Keeping up with English studies.	0.5

42	英会話IV	FGE-LE-444	選択 1単位 2年後期
	English Conversation IV		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○単独(1人が全回担当)		教職科目(工業)	
複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)		教職科目(情報)	
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)		教職科目(商業)	
クラス分け(クラス分けで担当する)		地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		○アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学部・全学科・全クラス ダレン キンズマン			
授業の達成目標			
As with the first semester, the objective of this course is to provide students with a variety of opportunities to express themselves in English. Focus will be placed upon speaking & listening.			
授業の概要			
The course covers a variety of topics which will give students the opportunities to learn & share information about themes relevant to students' daily lives, including SDGs. In addition to the course textbook, the course is supplemented by a variety of interactive activities such as the use of TED Talks & transcription exercises. These activities will help students to gain confidence in using the four skills of speaking, listening, reading & writing in English more spontaneously & creatively. As with the first semester, final presentations may be based on student interpretations of SDGs in their lives.			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
Pearson- English Firsthand (5th Edition) Level 2) Marc Helgesen, John Wiltshier, Steven Brown. Series Editor: Michael Rost			
参考書等			
成績評価方法・基準			
Students will be evaluated through both continual assessment, an end of semester speaking test and presentation.			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
Comments regarding both excellent examples and common errors in English produced in students' work will be made at the start of each class.			
備考			

42	英会話IV	FGE-LE-444	選択 1単位 2年後期
	English Conversation IV		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	Course introduction & orientation. Unit 0 of textbook.	Purchase of textbook and preparation for first class Course guidance & conversation warm-up exercises - The importance of creating a collaborative environment.	0.5 0.5
第2回	Unit 7 of textbook. Learning conversation skills - general interaction.	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class. Speaking and listening activities based on the textbook topic	0.5 0.5
第3回	Unit 7 of textbook. Transcription activity. Presentation practice #1. TED Talks #1	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class. Speaking & listening activities based on the textbook topic - Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion Presentation practice #1	0.5 0.5
第4回	Unit 8 of textbook. Learning conversation skills - keeping the conversation going.	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class. Speaking & listening activities based on the topic - Collaborative dictogloss & group discussion activities. Practice of taught conversation skills.	0.5 0.5
第5回	Unit 8 of textbook. Transcription activity. Presentation practice #2. TED Talks #2	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class. Speaking & listening activities based on the textbook topic - Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics. Presentation practice #2	0.5 0.5
第6回	Unit 9 of textbook. Learning conversation skills - asking questions.	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class. Speaking & listening activities based on the textbook topic - Collaborative dictogloss & group discussion activities. Practice of taught conversation skills.	0.5 0.5
第7回	Unit 9 of textbook. Transcription activity. Presentation practice #3. TED Talks #3	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class. Speaking & listening activities based on the textbook topic - Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics. Presentation practice #3	0.5 0.5
第8回	Unit 10 of textbook. Learning conversation skills - giving feedback.	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class. Speaking & listening activities based on the textbook topic - Collaborative dictogloss & group discussion activities. Practice of taught conversation skills.	0.5 0.5
第9回	Unit 10 of textbook. Transcription activity. Presentation practice #4. TED Talks #4	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class. Speaking & listening activities based on the textbook topic - Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics. Presentation practice #4	0.5 0.5
第10回	Unit 11 of textbook. Learning conversation skills - changing the topic.	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class. Speaking & listening activities based on the textbook topic - Collaborative dictogloss & group discussion activities. Practice of taught conversation skills.	0.5 0.5
第11回	Unit 11 of textbook. Transcription activity. Presentation practice #5. TED Talks #5	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class. Speaking & listening activities based on the textbook topic - Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics. Presentation practice #5	0.5 0.5
第12回	Unit 12 of textbook. Learning conversation skills - gestures & other non-verbal communication. Presentation practice #5.	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class. Speaking & listening activities based on the textbook topic - Collaborative dictogloss & group discussion activities. Practice of taught conversation skills. Presentation.	0.5 0.5
第13回	Unit 12 of textbook. Vocabulary test. Speaking test	Preparation for vocabulary test. Completion of transcription print and checking of video presentation in preparation for class. Speaking & listening activities based on the textbook topic - Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics.	0.5 0.5

42	英会話IV	FGE-LE-444	選択 1単位 2年後期
	English Conversation IV		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第 14 回	End of semester review. Summary of materials covered during the semester.	Check of understanding of materials covered during the semester.	0.5
		Keeping up with English studies.	0.5

43	資格英語 I	FGE-LE-351	選択 1単位 2 年前期
	English for Specific Purposes I		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
単独(1人が全回担当)		教職科目 (工業)	
複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)		教職科目 (情報)	
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)		教職科目 (商業)	
○クラス分け(クラス分けで担当する)		地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
工学部・建築学部、ライフデザイン学部 鈴木 淳 高橋 哲徳			
授業の達成目標			
1. 品詞、文の種類、文型、時制、主語と動詞の一致などの英文法の基礎的事項が理解できる。2. 英語の音韻体系の基本的事項が理解できる。3. TOEIC テストへの基礎的対応力を有する。			
授業の概要			
TOEIC 対策用のテキストや参考書などを用いて、TOEIC テストへの基本的な知識と対応能力を身につける。取り上げる文法項目は品詞、文型、時制、準動詞、主語と動詞の一致などの基本的事項や重要イディオムなどであり、400点を目標とした授業を行う。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
教科書、参考書については授業開始時、もしくは適宜必要に応じて指示する。			
参考書等			
成績評価方法・基準			
成績は定期試験によって評価する。ただし、受講者は、授業期間内に行われる「TOEIC IP テスト」を必ず受験すること。未受験の場合には、単位は認められない。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
課題については、授業時に、全員にフィードバックする。			
備考			

43	資格英語 I	FGE-LE-351	選択 1単位 2 年前期
	English for Specific Purposes I		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	ガイダンス (授業内容、計画、教材、学習方法、成績評価法など)	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。 (復習) 教科書に目を通し、今後の学習内容、方法を確認する。	0.5
第2回	TOEIC 対策演習 (品詞) 解説	(予習) 品詞のユニットについて、単語の意味、発音を確認する。 (復習) 品詞に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、単語の意味、発音を確認する。	0.5
第3回	TOEIC 対策演習 (品詞) 演習	(予習) 演習問題に関して、単語の意味、発音を確認する。 (復習) 品詞に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。	0.5
第4回	TOEIC 対策演習 (時制) 解説	(予習) 時制のユニットについて、単語の意味、発音を確認する。 (復習) 時制に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。	0.5
第5回	TOEIC 対策演習 (時制) 演習	(予習) 演習問題に関して、単語の意味、発音を確認する。 (復習) 時制に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。	0.5
第6回	TOEIC 対策演習 (動詞の形) 解説	(予習) 動詞のユニットについて、単語の意味、発音を確認する。 (復習) 動詞に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。	0.5
第7回	TOEIC 対策演習 (動詞の形) 演習	(予習) 演習問題に関して、単語の意味、発音を確認する。 (復習) 動詞に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。	0.5
第8回	TOEIC 対策演習 (主語と動詞の一致) 解説	(予習) 主語と動詞の一致のユニットについて、単語の意味、発音を確認する。 (復習) 主語と動詞の一致に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。	0.5
第9回	TOEIC 対策演習 (主語と動詞の一致) 演習	(予習) 演習問題に関して、単語の意味、発音を確認する。 (復習) 主語と動詞の一致に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。	0.5
第10回	TOEIC 対策演習 (文型) 解説	(予習) 文型のユニットについて、単語の意味、発音を確認する。 (復習) 文型に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。	0.5
第11回	TOEIC 対策演習 (文型) 演習	(予習) 演習問題に関して、単語の意味、発音を確認する。 (復習) 文型に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。	0.5
第12回	TOEIC 対策演習 (前置詞) 解説	(予習) 前置詞のユニットについて、単語の意味、発音を確認する。 (復習) 前置詞に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。	0.5
第13回	TOEIC 対策演習 (前置詞) 演習	(予習) 演習問題に関して、単語の意味、発音を確認する。 (復習) 前置詞に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。	0.5
第14回	前期学習内容のまとめと確認	(予習) これまでの学習内容を再確認する。 (復習) 前期の学習内容に関して不確実な部分を確認する。	0.5

44	資格英語 II	FGE-LE-452	選択 1単位 2年後期
	English for Specific Purposes II		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○	単独(1人が全回担当)	教職科目 (工業)	
	複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)	教職科目 (情報)	
	オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)	教職科目 (商業)	
	クラス分け(クラス分けで担当する)	地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学部全学科 2年全組 鈴木 淳			
授業の達成目標			
1. 受動態、準動詞、関係詞、仮定法などより複雑な構造の英文が理解できる。2. TOEIC リーディング・セクションの長文問題への対応力を有する。			
授業の概要			
TOEIC 対策用のテキストや参考書などを用いた演習を通して、より複雑な構造の英文を理解する。取り扱う文法事項は、受動態や不定詞、動名詞、分詞、関係詞、仮定法などである。また、重要イディオムや語彙問題の演習を通して、よりスコアに結びつく実践的なつける。450 ~ 500 点を目標とした授業内容である。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
教科書、参考書については授業開始時、もしくは適宜必要に応じて指示する。			
参考書等			
成績評価方法・基準			
成績は定期試験によって評価する。ただし、受講者は、授業期間内に行われる「TOEIC IP テスト」を必ず受験すること。未受験の場合には、単位は認められない。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
課題については、授業時に、全員にフィードバックする。			
備考			

44	資格英語 II	FGE-LE-452	選択 1単位 2年後期
	English for Specific Purposes II		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	ガイダンス (授業内容、計画、教材、学習方法、成績評価法など)	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。 (復習) 教科書に目を通し、今後の学習内容、方法を確認する。	0.5
第2回	TOEIC 対策演習 (受動態) 解説・演習問題	(予習) 受動態のユニットについて、単語の意味、発音を確認する。 (復習) 演習問題に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。	0.5
第3回	TOEIC 対策演習 (不定詞) 解説	(予習) 不定詞について、単語の意味、発音を確認する。 (復習) 不定詞に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。	0.5
第4回	TOEIC 対策演習 (不定詞) 演習問題	(予習) 演習問題のユニットについて、単語の意味、発音を確認する。 (復習) 演習問題に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。	0.5
第5回	TOEIC 対策演習 (動名詞) 解説	(予習) 動名詞について、単語の意味、発音を確認する。 (復習) 動名詞に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。	0.5
第6回	TOEIC 対策演習 (動名詞) 演習	(予習) 演習問題のユニットについて、単語の意味、発音を確認する。 (復習) 演習問題に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。	0.5
第7回	TOEIC 対策演習 (分詞) 解説	(予習) 分詞のユニットについて、単語の意味、発音を確認する。 (復習) 分詞に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。	0.5
第8回	TOEIC 対策演習 (分詞) 演習問題	(予習) 演習問題について、単語の意味、発音を確認する。 (復習) 演習問題に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。	0.5
第9回	TOEIC 対策演習 (関係詞) 解説	(予習) 関係詞について、単語の意味、発音を確認する。 (復習) 関係詞に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。	0.5
第10回	TOEIC 対策演習 (関係詞) 演習問題	(予習) 演習問題について、単語の意味、発音を確認する。 (復習) 演習問題に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。	0.5
第11回	TOEIC 対策演習 (比較) 解説	(予習) 比較のユニットについて、単語の意味、発音を確認する。 (復習) 比較に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。	0.5
第12回	TOEIC 対策演習 (比較) 演習問題	(予習) 演習問題について、単語の意味、発音を確認する。 (復習) 演習問題に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。	0.5
第13回	TOEIC 対策演習 (仮定法) 解説・演習問題	(予習) 仮定法のユニットについて、単語の意味、発音を確認する。 (復習) 演習問題に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。	0.5
第14回	後期学習内容の確認	(予習) 試験でできなかった問題を再度解き理解を深める。 (復習) 後期の学習内容に関して不確実な部分を確認する。	0.5

45	資格英語Ⅲ	FGE-LE-553	選択 1単位 3 年前期
	English for Specific Purposes III		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○	単独(1人が全回担当)	教職科目 (工業)	
	複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)	教職科目 (情報)	
	オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)	教職科目 (商業)	
	クラス分け(クラス分けで担当する)	地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学部全学科 3 年全組 鈴木 淳			
授業の達成目標			
1. TOEIC テストのスコア 500 点以上取得に必要な英文法事項が理解できる。2. TOEIC テストのスコア 500 点以上取得に必要なリスニングおよび英文読解ができる。3. TOEIC テストのスコア 500 点以上取得に必要な各パートへの対応力を有する。			
授業の概要			
TOEIC 対策用のテキストや参考書などを用いて、TOEIC テストの各パートへの対応能力を身につける。実際の授業では、500 点以上を取得するのに必要な文法事項や語彙・重要イディオムなどに関する解説と演習という形で進めていく。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
教科書、参考書については授業開始時、もしくは適宜必要に応じて指示する。			
参考書等			
成績評価方法・基準			
成績は定期試験によって評価する。ただし、受講者は、授業期間内に行われる「TOEIC IP テスト」を必ず受験すること。未受験の場合には、単位は認められない。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
課題については、授業時に、全員にフィードバックする。			
備考			

45	資格英語Ⅲ	FGE-LE-553	選択 1単位 3 年前期
	English for Specific Purposes III		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	ガイダンス (授業内容、計画、教材、学習方法、成績評価法など)	(予習) 未知の英単語の意味、発音を調べる。また英文を音読する。 (復習) 教科書に目を通し、今後の学習内容、方法を確認する。	0.5
第2回	TOEIC 対策演習 (PART1 写真描写問題) 解説	(予習) PART1 (写真描写問題) について、単語の意味、発音を確認する。 (復習) PART1 (写真描写問題) に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、単語の意味、発音を確認する。	0.5
第3回	TOEIC 対策演習 (PART1 写真描写問題) 演習	(予習) 演習問題に関して、単語の意味、発音を確認する。 (復習) PART1 (写真描写問題) に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。	0.5
第4回	TOEIC 対策演習 (PART2 応答問題) 解説	(予習) PART2 (応答問題) について、単語の意味、発音を確認する。 (復習) PART2 (応答問題) に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。	0.5
第5回	TOEIC 対策演習 (PART2 応答問題) 演習	(予習) 演習問題に関して、単語の意味、発音を確認する。 (復習) PART2 (応答問題) に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。	0.5
第6回	TOEIC 対策演習 (PART3 会話問題) 解説	(予習) PART3 (会話問題) について、単語の意味、発音を確認する。 (復習) PART3 (会話問題) に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。	0.5
第7回	TOEIC 対策演習 (PART3 会話問題) 演習	(予習) 演習問題に関して、単語の意味、発音を確認する。 (復習) PART3 (会話問題) に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。	0.5
第8回	TOEIC 対策演習 (PART4 説明文問題) 解説	(予習) PART4 (説明文問題) について、単語の意味、発音を確認する。 (復習) PART4 (説明文問題) に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。	0.5
第9回	TOEIC 対策演習 (PART4 説明文問題) 演習	(予習) 演習問題に関して、単語の意味、発音を確認する。 (復習) PART4 (説明文問題) に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。	0.5
第10回	TOEIC 対策演習 (PART5 短文穴埋め問題、PART6 長文穴埋め問題) 解説	(予習) PART5 (短文穴埋め問題) や、PART6 (長文穴埋め問題) について、単語の意味、発音を確認する。 (復習) PART5 (短文穴埋め問題) や、PART6 (長文穴埋め問題) に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。	0.5
第11回	TOEIC 対策演習 (PART5 短文穴埋め問題、PART6 長文穴埋め問題) 演習	(予習) 演習問題に関して、単語の意味、発音を確認する。 (復習) PART5 (短文穴埋め問題)、PART6 (長文穴埋め問題) に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。	0.5
第12回	TOEIC 対策演習 (PART7 読解問題) 解説	(予習) PART7 (読解問題) について、単語の意味、発音を確認する。 (復習) PART7 (読解問題) に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。	0.5
第13回	TOEIC 対策演習 (PART7 読解問題) 演習	(予習) 演習問題に関して、単語の意味、発音を確認する。 (復習) PART7 (読解問題) に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。	0.5
第14回	前期学習内容のまとめと確認	(予習) これまでの学習内容を再確認する。 (復習) 前期の学習内容に関して不確実な部分を確認する。	0.5

46	健康・運動科学実習Ⅰ	FGE-MPH-111	選択 1単位 1年前期
	Practice of Health, Exercise and Physical Sciences Ⅰ		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
単独(1人が全回担当)		教職科目(工業)	 
○ 複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)		教職科目(情報)	
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)		教職科目(商業)	
○ クラス分け(クラス分けで担当する)		地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学科1年全組 高野 淳司 本田 春彦 松原 悟 伊藤 常久 門間 陽樹 黒澤 尚 草野 修治			
授業の達成目標			
生涯にわたり継続的に運動を楽しむための資質や能力を身につけることを目的に複数種類のスポーツ種目を実践する。健康づくりのための基本的知識を理解し、生活の中に取り入れることを目的とする。			
授業の概要			
対面授業とオンライン授業を併用して授業を行う。様々なスポーツ種目を個人あるいはグループ単位で取り組む。また、健康科学講義や生活習慣の自己診断等を通し、健康づくりのための基本的知識を習得する。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
適宜配付する。			
参考書等			
成績評価方法・基準			
実技に関しては、集団的内容はゲームでの成績、個人的内容は個々の実践能力を持って評価する。また講義等に関しては、授業内でミニテスト等を実施する。それらを総合的に評価することでこの授業の成績とする。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
次回授業時に全体に対し、フィードバックを行う。			
備考			

46	健康・運動科学実習Ⅰ	FGE-MPH-111	選択 1単位 1年前期
	Practice of Health, Exercise and Physical Sciences Ⅰ		
授業計画(各回の学習内容等)			
	学習内容(授業方法)	学習課題(上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	ガイダンス(授業概要・成績評価の説明)	授業内容等についてシラバスで確認する	0.5
第2回	室内スポーツ:バスケットボール、バドミントン、バレーボール等(ルール、基礎について)	履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する	0.5
第3回	健康科学講義: 病の起源「がん」	授業内で指示された種目のルール、基礎について確認しておく	0.5
第4回	健康科学講義: 病の起源「がん」	技術の定着を図るため各自反復練習をしておく	0.5
第5回	健康科学講義: 病の起源「がん」	「がん」について調べておく	0.5
第6回	健康科学講義: 病の起源「がん」	授業で説明された内容について確認しておく	0.5
第7回	健康科学講義: 病の起源「心臓病」	授業内で指示された種目の試合進行方法について確認しておく	0.5
第8回	健康科学講義: 病の起源「心臓病」	技術の定着を図るため各自反復練習をしておく。	0.5
第9回	健康科学講義: 病の起源「心臓病」	「心臓病」について調べておく	0.5
第10回	健康科学講義: 病の起源「心臓病」	授業で説明された内容について確認しておく	0.5
第11回	健康科学講義: 病の起源「心臓病」	室内スポーツ:バスケットボール、バドミントン、バレーボール等(試合形式)	0.5
第12回	健康科学講義: 病の起源「心臓病」	授業内で指示された種目の審判法について確認しておく	0.5
第13回	健康科学講義: 病の起源「心臓病」	試合の反省をし、課題点について練習をしておく	0.5
第14回	健康科学講義: 病の起源「心臓病」	「脳卒中」について調べておく	0.5
第15回	健康科学講義: 病の起源「心臓病」	授業で説明された内容について確認しておく	0.5
第16回	健康科学講義: 病の起源「心臓病」	屋外スポーツ: サッカー、ソフトボール等(ルール、基礎について)	0.5
第17回	健康科学講義: 病の起源「心臓病」	授業内で指示された種目のルール、基礎について確認しておく	0.5
第18回	健康科学講義: 病の起源「心臓病」	技術の定着を図るため各自反復練習をしておく	0.5
第19回	健康科学講義: 病の起源「心臓病」	「糖尿病」について調べておく	0.5
第20回	健康科学講義: 病の起源「心臓病」	授業で説明された内容について確認しておく	0.5
第21回	健康科学講義: 病の起源「心臓病」	屋外スポーツ: サッカー、ソフトボール等(応用技術、試しのゲーム)	0.5
第22回	健康科学講義: 病の起源「心臓病」	授業内で指示された種目の試合進行方法について確認しておく	0.5
第23回	健康科学講義: 病の起源「心臓病」	技術の定着を図るため各自反復練習をしておく。	0.5
第24回	健康科学講義: 病の起源「心臓病」	「うつ」について調べておく	0.5
第25回	健康科学講義: 病の起源「心臓病」	授業で説明された内容について確認しておく	0.5
第26回	健康科学講義: 病の起源「心臓病」	屋外スポーツ: サッカー、ソフトボール等(試合形式)	0.5
第27回	健康科学講義: 病の起源「心臓病」	授業内で指示された種目の審判法について確認しておく	0.5
第28回	健康科学講義: 病の起源「心臓病」	試合の反省をし、課題点について練習をしておく	0.5
第29回	健康科学講義: 健康コラム「健康と水」実技「ストレッチ」	人体にとって重要な水について調べておく。またストレッチについて確認しておく	0.5
第30回	健康科学講義: 健康コラム「健康と水」実技「ストレッチ」	授業で説明された内容について確認しておく	0.5
第31回	まとめ	授業の振り返りのためのポイントについて確認しておく	0.5
第32回	まとめ	授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う	0.5

47	健康・運動科学実習 II	FGE-MPH-212	選択 1単位 1年後期
	Practice of Health, Exercise and Physical Sciences II		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
単独(1人が全回担当)		教職科目 (工業)	 
○ 複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)		教職科目 (情報)	
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)		教職科目 (商業)	
○ クラス分け(クラス分けで担当する)		地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学科1年全組 高野 淳司 本田 春彦 池田 晃一 門間 陽樹 黒澤 尚			
授業の達成目標			
生涯にわたり継続的に運動を楽しむための資質や能力を身につけることを目的に複数種類のスポーツ種目を実践する。健康づくりのための基本的知識を理解し、生活の中に取り入れることを目的とする。			
授業の概要			
対面授業とオンライン授業を併用して授業を行う。様々なスポーツ種目を個人あるいはグループ単位で取り組む。また、健康科学講義や生活習慣の自己診断等を通し、健康づくりのための基本的知識を習得する。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
特になし (必要な場合は適時授業時に資料を配付する。)			
参考書等			
成績評価方法・基準			
実技に関しては、集団的内容はゲームでの成績、個人的内容は個々の実践能力を持って評価する。また講義等に関しては、授業内でミニテスト等を実施する。それらを総合的に評価することでこの授業の成績とする。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
次回授業時に全体に対し、フィードバックを行う。			
備考			

47	健康・運動科学実習 II	FGE-MPH-212	選択 1単位 1年後期
	Practice of Health, Exercise and Physical Sciences II		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	ガイダンス (授業概要・成績評価の説明)	授業内容等についてシラバスで確認する	0.5
		履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する	0.5
第2回	室内スポーツ：バスケットボール、バドミントン、バレーボール等 (ルール、基礎について)	授業内で指示された種目のルール、基礎について確認しておく	0.5
		技術の定着を図るため各自反復練習をしておく	0.5
第3回	健康科学講義：人体「腎臓」	「腎臓」について調べておく	0.5
		授業で説明された内容について確認しておく	0.5
第4回	室内スポーツ：バスケットボール、バドミントン、バレーボール等 (応用技術、試しのゲーム)	授業内で指示された種目の試合進行方法について確認しておく	0.5
		技術の定着を図るため各自反復練習をしておく。	0.5
第5回	健康科学講義：人体「脂肪と筋肉」	「脂肪」と「筋肉」について調べておく	0.5
		授業で説明された内容について確認しておく	0.5
第6回	室内スポーツ：バスケットボール、バドミントン、バレーボール等 (試合形式)	授業内で指示された種目の審判法について確認しておく	0.5
		試合の反省をし、課題点について練習をしておく	0.5
第7回	健康科学講義：人体「骨」	「骨」について調べておく	0.5
		授業で説明された内容について確認しておく	0.5
第8回	屋外スポーツ：フットサル、ソフトボール等 (ルール、基礎について)	授業内で指示された種目のルール、基礎について確認しておく	0.5
		技術の定着を図るため各自反復練習をしておく	0.5
第9回	健康科学講義：人体「腸」	「腸」について調べておく	0.5
		授業で説明された内容について確認しておく	0.5
第10回	屋外スポーツ：フットサル、ソフトボール等 (応用技術、試しのゲーム)	授業内で指示された種目の試合進行方法について確認しておく	0.5
		技術の定着を図るため各自反復練習をしておく。	0.5
第11回	健康科学講義：人体「脳」	「脳」について調べておく	0.5
		授業で説明された内容について確認しておく	0.5
第12回	屋外スポーツ：フットサル、ソフトボール等 (試合形式)	授業内で指示された種目の審判法について確認しておく	0.5
		試合の反省をし、課題点について練習をしておく	0.5
第13回	健康科学講義：健康コラム「運動と脳」実技「ストレッチ」	運動と脳の関係について調べておく。またストレッチについて確認しておく	0.5
		授業で説明された内容について確認しておく	0.5
第14回	まとめとレポート課題	授業の振り返りのためのポイントについて確認しておく	0.5
		授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う	0.5

48	スポーツ科学実習	FGE-MPH-321	選択 1単位 2 年前期
	Practice of Sports Science		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
単独(1人が全回担当)		教職科目 (工業)	 
○ 複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)		教職科目 (情報)	
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)		教職科目 (商業)	
○ クラス分け(クラス分けで担当する)		地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
2年全組 高野 淳司 本田 春彦 土井 豊 森田 清美			
授業の達成目標			
生涯にわたり継続的に運動を楽しむための資質や能力を身につけることを目的として健康づくりに必要な知識を習得および複数種類のスポーツ種目を実践する。それぞれの実技種目の実践や健康科学講義の受講によって、運動やスポーツの効果を実感したり自らの健康意識を高めていく。			
授業の概要			
対面授業とオンライン授業を併用して授業を行う。様々なトレーニングやスポーツ種目を個人あるいはグループ単位で取り組む。また、健康科学講義や生活習慣の自己診断等を通し、健康づくりのための基本的知識を習得する。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
適時授業時に資料を配付する。			
参考書等			
成績評価方法・基準			
実技に関しては、集団的内容はゲームでの成績、個人的内容は個々の実践能力を持って評価する。また講義等に関しては、授業内でミニテスト等を実施する。それらを総合的に評価することでこの授業の成績とする。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
次回授業時に全体に対してフィードバックを行う。			
備考			

48	スポーツ科学実習	FGE-MPH-321	選択 1単位 2 年前期
	Practice of Sports Science		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	ガイダンス (授業内容と進め方の理解)	選択する種目等についてシラバスで確認する	0.5
		履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する	0.5
第2回	屋内でのニュースポーツ種目：インディアカ、ミニテニス、ポッチャ、卓球バレー (基本技術の確認)	実施する種目の概要 (基本技術等)を確認しておく	0.5
		技術の定着を図るため、各自反復練習を行う	0.5
第3回	健康科学講義：人体「生命誕生」	人体の構造・機能と生命誕生について調べておく	0.5
		授業で説明された内容について確認する	0.5
第4回	屋内でのニュースポーツ種目：インディアカ、ミニテニス、ポッチャ、卓球バレー (グループ練習とミニゲー)	実施する種目のルールについて確認しておく	0.5
		技術の定着を図るため、各自反復練習を行う	0.5
第5回	健康科学講義：人体「健康長寿」	人体の構造・機能と健康長寿について調べておく	0.5
		授業で説明された内容について確認する	0.5
第6回	屋内でのニュースポーツ種目：インディアカ、ミニテニス、ポッチャ、卓球バレー (試合と審判法)	実施する種目の審判法について確認しておく	0.5
		試合を通しての自己評価と振り返りを行う	0.5
第7回	健康科学講義：遺伝子「DNAについて」	遺伝子とDNAについて調べておく	0.5
		授業で説明された内容について確認する	0.5
第8回	屋外でのニュースポーツ種目：キックベース、ティーボール、フライングディスク、ラクロス (基本技術の確)	実施する種目の概要 (基本技術等)を確認しておく	0.5
		技術の定着を図るため、各自反復練習を行う	0.5
第9回	健康科学講義：遺伝子「エピジェネティクスについて」	エピジェネティクスについて調べておく	0.5
		授業で説明された内容について確認する	0.5
第10回	屋外でのニュースポーツ種目：キックベース、ティーボール、フライングディスク、ラクロス (グループ練習)	実施する種目の概要 (基本技術等)を確認しておく	0.5
		技術の定着を図るため、各自反復練習を行う	0.5
第11回	健康科学講義：「iPS細胞」について	iPS細胞について調べておく	0.5
		授業で説明された内容について確認する	0.5
第12回	屋外でのニュースポーツ種目：キックベース、ティーボール、フライングディスク、ラクロス (試合と審判法)	実施する種目の審判法について確認しておく	0.5
		試合を通しての自己評価と振り返りを行う	0.5
第13回	健康科学講義：「疲労」について 実技：「HIT」	疲労の影響について調べておく HITについて調べておく	0.5
		授業で説明された内容について確認する	0.5
第14回	まとめとレポート課題	授業の振り返りのためのポイントについて確認しておく	0.5
		授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う	0.5

48	スポーツ科学実習（ゴルフ）	FGE-MPH-321	選択 1単位 2年前期（集中講義）
	Practice of Sports Science（Golf）		
授業形態		該当科目	SDGsの取り組み
単独(1人が全回担当)		教職科目（工業）	 
○ 複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)		教職科目（情報）	
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)		教職科目（商業）	
○ クラス分け(クラス分けで担当する)		地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学科2年全組 高野 淳司 本田 春彦 池田 晃一			
授業の達成目標			
生涯スポーツや健康づくりの一つとしてゴルフを実践し、本種目の競技特性や楽しさ、コンペラウンド等の運営方法等を理解・体得する。他者とのコミュニケーション力を養います。授業前半で基本的なゴルフスイング（ショット・アプローチ・パット）の基本技術を理解・習得し、それをもとに授業後半でラウンドするミニコースで実際に実践することが出来るようになることを目標とする。			
授業の概要			
この集中コースは、夏期休業中に学外のゴルフ専用施設を利用して実施する。授業前半はゴルフ打球練習場でのスイングの基本技術の習得と応用、授業後半はミニゴルフ場でのショートコースの実践ラウンドを行い受講者の技術習得度を受講者自身で確認する。なおこの集中コースは、実習に要する経費の一部は受講生の自己負担となる。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
適時資料を配付する。また、視聴覚映像を使用する。			
参考書等			
成績評価方法・基準			
基礎実技、応用実技の達成度、コースラウンド結果及び課題レポートを総合的に評価する。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
実技結果、レポート内容については授業時に全体に対してフィードバックを行う。			
備考			

48	スポーツ科学実習（ゴルフ）	FGE-MPH-321	選択 1単位 2年前期（集中講義）
	Practice of Sports Science（Golf）		
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（上段予習・下段復習）	目安時間(時)
第1回	ガイダンス ゴルフの基礎理論：「用具の活用、スイング動作、ボールヒッティング」についての説明	用具や基本動作について調べておく 履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する	0.5 0.5
第2回	打球場での学習と練習「アプローチ基礎」	アプローチ技術のポイントについて調べておく 授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく	0.5 0.5
第3回	打球場での学習と練習「アプローチ応用」	状況に応じたアプローチ技術のポイントについて調べておく 授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく	0.5 0.5
第4回	打球場での学習と練習「ショートアイアン基礎」	ショートアイアンのスイング技術のポイントについて調べておく 授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく	0.5 0.5
第5回	打球場での学習と練習「ショートアイアン応用」	状況に応じたショートアイアン技術のポイントについて調べておく 授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく	0.5 0.5
第6回	打球場での学習と練習「ミドルアイアン基礎」	ミドルアイアンのスイング技術のポイントについて調べておく 授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく	0.5 0.5
第7回	打球場での学習と練習「ミドルアイアン応用」	状況に応じたミドルアイアン技術のポイントについて調べておく 授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく	0.5 0.5
第8回	打球場での学習と練習「ドライバー、パター」	ドライバーのスイングやパターの基本について調べておく 授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく	0.5 0.5
第9回	打球場での学習と練習「模擬ラウンド」	ラウンドを想定した練習における自身の課題について確認しておく 授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく	0.5 0.5
第10回	ショートコースでのマナー学習と練習（バンカー、グリーン周り）	バンカーやグリーン周りにおけるマナーについて調べておく 授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく	0.5 0.5
第11回	ショートコース（9ホール、パー 27）を練習ラウンド	第1回～第10回の振り返りと、自身の課題を再確認しておく 授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく	0.5 0.5
第12回	打球場での学習と練習「ラウンド実践に向けての調整」	練習ラウンドを通じて発見した課題を再確認し、練習しておく 授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく	0.5 0.5
第13回	ショートコースローカルルール、マナー確認	「ローカルルール」やマナーについて再確認しておく 授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく	0.5 0.5
第14回	ショートコース（9ホール、パー 27）をラウンド実践	第11回～第13回の振り返りと、自身の課題を再確認しておく 授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく	0.5 0.5

48	スポーツ科学実習（スキー）	FGE-MPH-321	選択 1単位 2年前期（集中講義）
	Practice of Sports Science (Ski)		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
単独(1人が全回担当)		教職科目（工業）	 
○ 複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)		教職科目（情報）	
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)		教職科目（商業）	
○ クラス分け(クラス分けで担当する)		地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学科2年全組 高野 淳司 本田 春彦 池田 晃一 森田 清美 草野 修治			
授業の達成目標			
スキーの基礎技術や応用技術を習得し、自分の技量に応じたスキースポーツの楽しみ方を見つける。スキーヤーとして必要な安全配慮やスキー場でのルールやマナーを身につける。			
授業の概要			
この集中コースは前期開講科目であるが冬季スポーツであるため後期に実施される3泊4日の実技実習を経て1単位が認定される。実習は技能に応じた班別指導が行われ、班別集団演技等によって技能の向上が図られるだけでなく、人間交流も含めた共同生活を通じてルールやマナーも学び、総合学習の機会として意義深い。ただしこの集中コースは、実習に要する経費は学生の自己負担となる。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
適時、資料を配付する参考書 SAJ 編 日本スキー教程 理論編 指導実技編検定編			
参考書等			
成績評価方法・基準			
学内・学外授業の全日程参加を必須条件とし、受講中の課題達成状況や役割遂行状況、および実習日誌（レポート）等について総合的に評価する。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
レポート内容については、次回授業時に全体に対してフィードバックを行う。			
備考			

48	スポーツ科学実習（スキー）	FGE-MPH-321	選択 1単位 2年前期（集中講義）
	Practice of Sports Science (Ski)		
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（上段予習・下段復習）	目安時間(時)
第1回	ガイダンス（クラス分け） スキースポーツの特性とスキー技術論、スキーと安全、用具の知識とその活用について	用具や基本技術、安全上の留意点などについて調べておく 履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する	0.5 0.5
第2回	技能テスト1「班分け」	技術のポイントについて調べておく 授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく	0.5 0.5
第3回	基礎技術「緩斜面での安全滑走」	滑走と止まり方の技術やポイントについて調べておく 授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく	0.5 0.5
第4回	基礎技術「緩斜面での制動・回転技術」	緩斜面での回転技術のポイントについて調べておく 授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく	0.5 0.5
第5回	応用技術「緩斜面での大回り」	パラレルターンの大回りについて技術やポイントについて調べておく 授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく	0.5 0.5
第6回	応用技術「緩斜面での小回り」	パラレルターンの小回りについて技術やポイントについて調べておく 授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく	0.5 0.5
第7回	応用技術「中斜面滑走」	中斜面での滑走における技術やポイントについて調べておく 授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく	0.5 0.5
第8回	技能テスト2「到達レベルチェック、班再編」	第3回～第7回の授業の振り返りをしておく 授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく	0.5 0.5
第9回	発展技術「中斜面での大回り」	中斜面での大回りにおける技術やポイントについて調べておく 授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく	0.5 0.5
第10回	発展技術「中斜面での小回り」	中斜面での小回りにおける技術やポイントについて調べておく 授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく	0.5 0.5
第11回	発展技術「中・急斜面での大回り」	急斜面での大回りにおける技術やポイントについて調べておく 授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく	0.5 0.5
第12回	発展技術「中・急斜面での小回り」	急斜面での小回りにおける技術やポイントについて調べておく 授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく	0.5 0.5
第13回	応用実技練習「班別団体演技」	自身にとって課題となる動作について確認しておく 授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく	0.5 0.5
第14回	技能テスト3「基礎実技、応用実技」まとめ	授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく 授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う	0.5 0.5

49	特別課外活動 I FGE-IDP-010 Off-class Practice I	選択 1単位 1年前期～4年後期
----	---	------------------

詳細については、シラバスの『特別課外活動』についてのページを参照のこと。

50	特別課外活動Ⅱ FGE-IDP-020 Off-class Practice Ⅱ	選択 1単位 1年前期～4年後期
----	--	------------------

詳細については、シラバスの『特別課外活動』についてのページを参照のこと。

51

特別課外活動Ⅲ FGE-IDP-030

選択 2単位 1年前期～4年後期

Off-class Practice Ⅲ

詳細については、シラバスの『特別課外活動』についてのページを参照のこと。

52	特別課外活動Ⅳ FGE-IDP-040 Off-class Practice Ⅳ	選択 2単位 1年前期～4年後期
----	--	------------------

詳細については、シラバスの『特別課外活動』についてのページを参照のこと。

53

他大学等教養科目群 FGE-IDP-050

選択 4単位 1年後期～4年前期

Subjects offered other universities

詳細については、シラバスの「他大学開講科目」、CAMPUS LIFEの「学都仙台単位互換ネットワーク協定および国内外の大学等との単位互換に関する協定に基づく東北工業大学特別聴講学生取扱要項」を参照のこと。